

東北町の健康

令和3年度保健衛生事業実施状況及び
令和4年度保健衛生事業計画について

笑顔・元気・活力にあふれ
未来に羽ばたく とうほくまち



東北町

東北町町民憲章

わたくし達は、みどりの大地と小川原湖にいだかれた東北町の町民です。

わたくし達は、先人の築いた郷土にうやまいと誇りをもち、いのち輝く豊かなふるさとをつくるため、この憲章を定めます。

一、花とみどりを育て、美しい町にします。

一、ぬくもりのある家庭、やさしさあふれる町にします。

一、仕事に励み、活気ある町にします。

一、心と体をきたえ、健康で明るい町にします。

一、学ぶ心を持ち続け、文化のかおる町にします。

(平成 17 年 9 月 2 日制定)



町章

【と】を形象した緑の大地、【う】を形象した小川原湖が高瀬川放水路で太平洋と結ばれた形状で、北東の位置・希望・躍動を表現しています。中の円は、調和のイメージと「日本中央の碑」を表現し、文化の豊かさを意味します。

— 目 次 —

I. 令和4年度東北町保健衛生事業主要方針	1
II. 令和4年度東北町保健衛生事業図	2
III. 令和4年度東北町保健衛生課組織図	3
IV. 令和4年度保健活動計画	4
V. 令和4年度献血推進計画	6
VI. 衛生統計	7
VII. 令和3年度保健衛生事業概要	
● 主要事業一覧表	8
1. 母子保健事業	11
2. 精神保健事業	18
3. 健康増進事業	19
4. 歯周疾患検診	23
5. 糖尿病性腎症重症化予防事業	23
6. 特定保健指導	24
7. 特定健診受診率向上対策	25
8. 予防接種	26
9. 結核検診	28
10. 献血推進事業	29
11. 健康・福祉まつり	29
12. 地区衛生組織	30
13. 環境衛生	34
VIII. その他	
1. 乳幼児歯科健診の状況	35
2. 子どもの体格および生活習慣の状況	36
3. 乳幼児健診身体・生活習慣の状況	39
4. 健診データから見る健康指標	42
5. 資料編	48
東北町保健協力員名簿	48
東北町保健協力員役員名簿	50
東北町食生活改善推進員名簿	51
東北町食生活改善推進員役員名簿	52
東北町健康づくり推進協議会及び献血推進協議会委員	53
東北町こころの健康づくり（自殺予防）対策協議会委員	54

I. 令和4年度東北町保健衛生事業主要方針

1. 保健対策の方針

やさしさあふれる健康福祉のまちづくり

近年の急速な少子高齢化社会の到来や核家族化が進むなかで、すべての住民が住み慣れた地域で支え合い助け合いながら健康で安心かつ充実した生活が送れるような地域社会の推進が重要であり、保健・医療・福祉サービスの総合的・一体的な提供を図る必要があります。

そのことから、社会資源の活用や、人情味と郷土愛あふれる住民性等を生かし、保健事業推進体制の拡充、健康管理意識の高揚と自主的活動の促進、健康増進・母子保健の充実、また、新型コロナウイルス等の感染症対策・精神保健・難病対策の推進、地域医療体制の充実等、関係機関との連携や協力体制を強化し、生涯の各期に応じたきめ細かな保健サービスの推進に努めます。

※重点プロジェクト

「子育て環境（U 環境）、健康長寿の環境（K 環境）向上プロジェクト」

出産・子育ての希望をかなえ、少子化に歯止めをかけるため、生みやすい環境（U 環境）・育てやすい環境（S 環境）及び町民が生涯にわたって健やかに安心して暮らし、長生きできる環境（K 環境）の向上・充実の施策を重点的に実施するため、関係課、関係機関と情報共有、協働・連携し推進します。

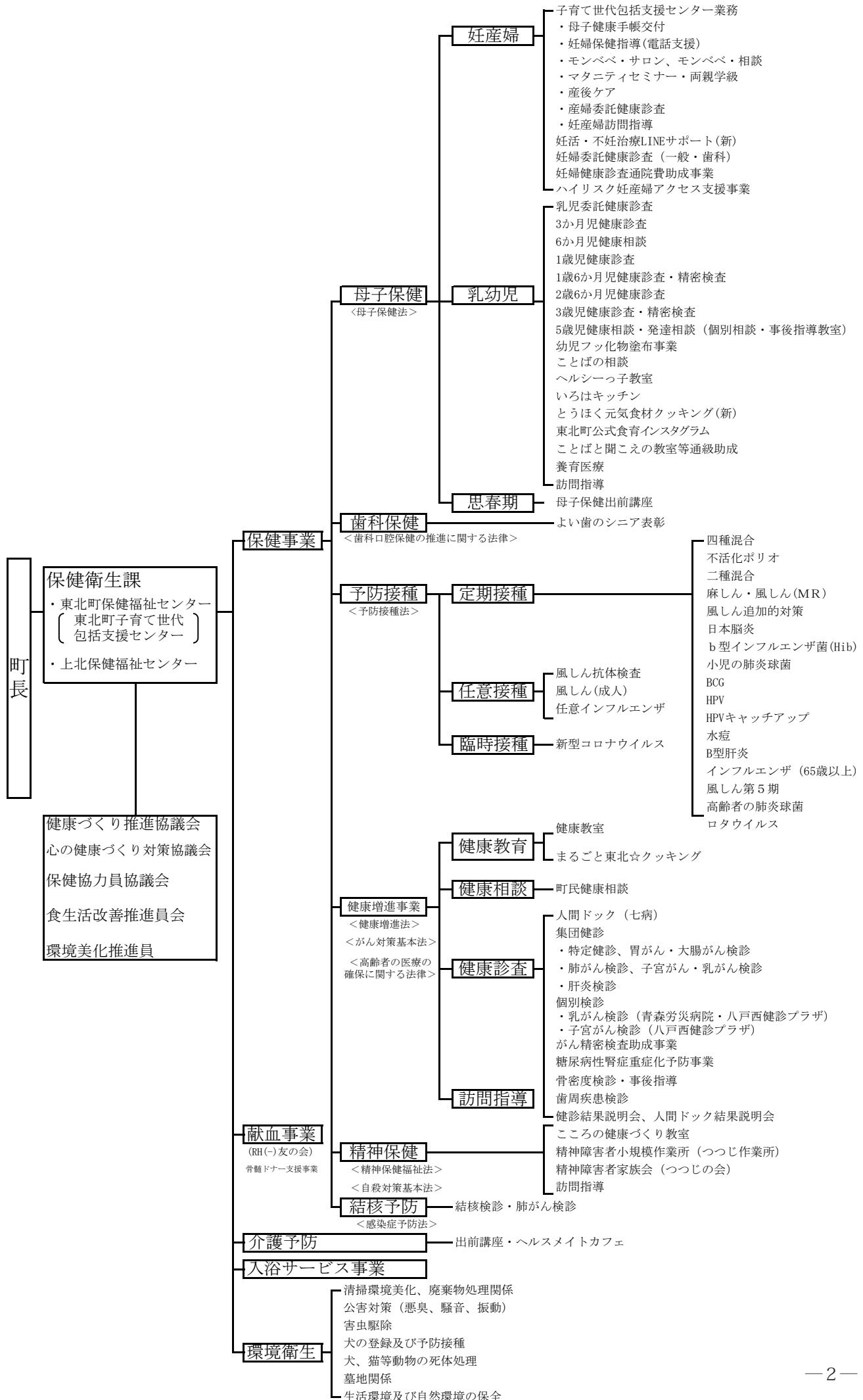
2. 環境衛生対策の方針

小川原湖輝く環境先進のまちづくり

地球環境の保全、資源保護に対する関心が高まるなかで、ごみの減量化や再利用の継続的な実践が求められています。

このことから、ごみ処理等環境衛生の充実を図るため、住民の意識高揚及びごみ収集・処理体制の充実、ごみの減量化・リサイクル社会の確立、ごみの不法投棄の防止等に一層積極的に取り組むと共に町のシンボルである小川原湖の自然環境・景観の保全をはじめ、更には、住民の定住促進に向け環境への負荷の少ない循環型社会の構築を図ることと合わせ、環境先進のまちづくりを進めます。

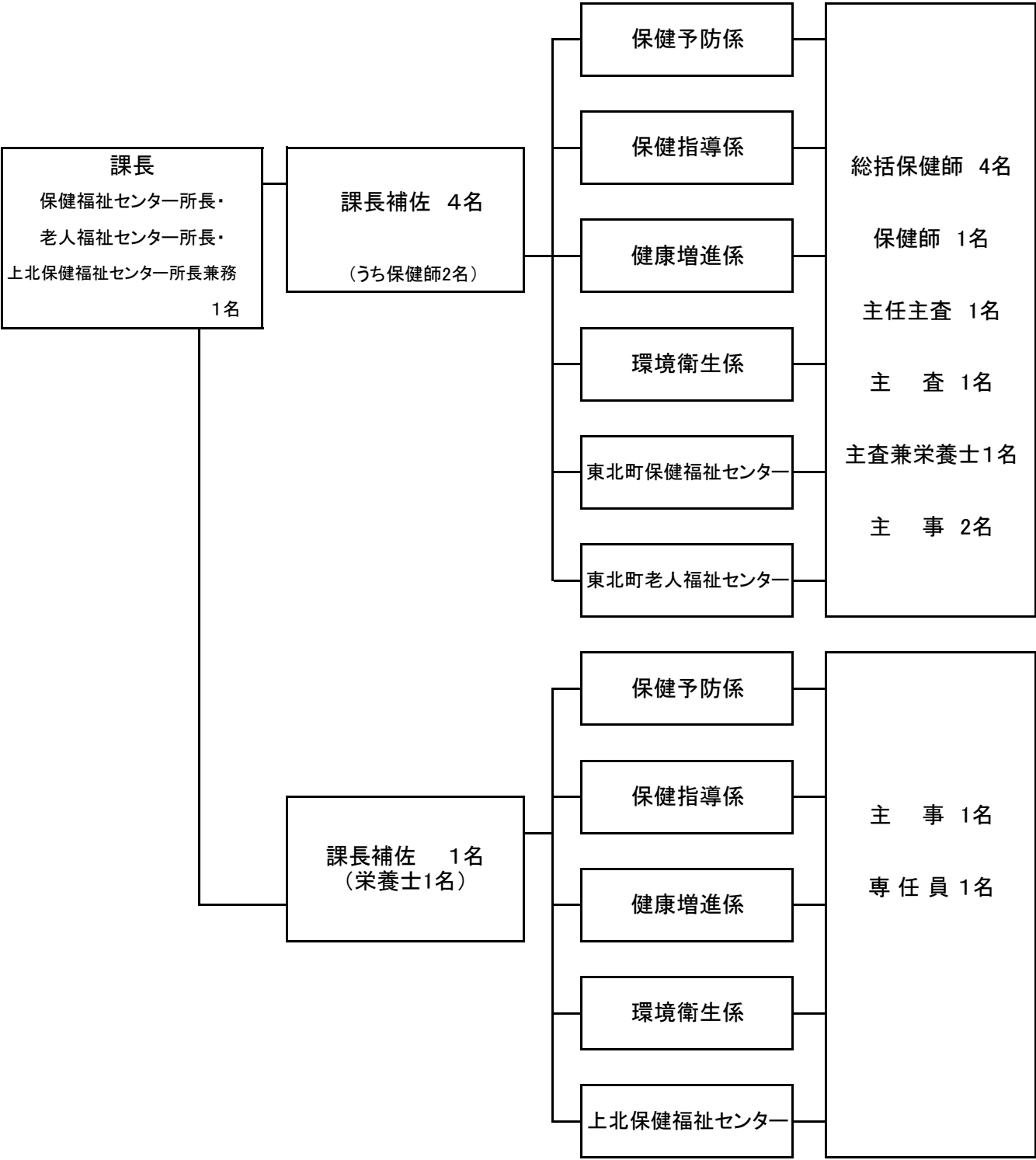
Ⅱ. 令和4年度東北町保健衛生事業図



Ⅲ. 令和4年度 保健衛生課組織図

東北町保健福祉センター

上北保健福祉センター



IV. 令和4年度保健活動計画

○ 東北町健康増進計画（第2次）における健康づくりの推進

1. 生活習慣の改善
- ①栄養・食生活・・・子どもから大人まで適正体重を維持できる食生活を実践できる。
 - ②身体活動・運動・・・肥満解消や運動の必要性について理解し、運動する習慣をつける。
 - ③飲酒・・・飲酒が健康に及ぼす影響についての正しい知識を身につける。
 - ④喫煙・・・喫煙が健康に及ぼす影響についての正しい知識を身につける。
 - ⑤歯・口腔の健康・・・生涯を通じた歯・口腔の健康づくりに取り組み、全身の健康との関連性を理解する。

○ 各ライフステージにおける健康づくりの推進

	東 北 町 の 健 康 課 題	令和4年度事業計画(重点目標・実施内容)
妊産婦	●病院より、若年妊婦や支援者不足、育児不安を持つ妊産婦の連絡票が多い(R2 11人 R3 13人) ●低出生体重児(体重2, 500g未満(R2 5人 R3 3人) ●エジンバラ産後うつ病自己調査票で9点以上の産婦がいる(R2 5人 R3 0人)	1. 妊婦が安全に出産できるよう、正しい知識の普及と相談支援の充実を図る ①母子健康手帳交付時に支援プランを立て、妊娠中から産後まで、電話や妊婦学級、両親学級を通じて継続的に支援を行う ②病院より要訪問妊産婦連絡票が届いた場合は、医療機関と連携し対応する ③やせ妊婦への妊娠届出時の栄養指導 ④産前産後サポートケア・助産師相談の実施 2. 産後の気分の落ち込みに適切に対処し、育児不安を軽減する ①産婦訪問においてエジンバラ産後うつ病自己調査票・育児支援チェックリスト・赤ちゃんへの気持ち質問票の活用し精神面の支援も行う
乳幼児	●むし歯の子がいる ・1歳6か月児 町1.1%(R2) 町1.1%(R3) 県1.7%(R2) 国1.1%(R2) - 仕上げみがき実施率(町96.7%) ・3歳児 町15.5%(R2) 町15.0%(R3) 県20.7%(R2) 国11.8%(R2) ●甘味食品・甘味飲料(1日3回以上)の飲食習慣がある子が多い 3歳児健診 町28.3%(R3)、34.9%(R2) 上十三 21.3%(R1) ●肥満の子もいる 3歳児 町7.0%(R3)7人、6.6%(R2)7人、1.9%(H30)2人 ●育児やしつけに不安を感じている親がいる ●予防接種を受けていない子どもがいる 麻疹風しん混合1期 100% 2期 94.3% (R2)	1. 正しい生活習慣・食習慣を推奨する 乳幼児健診において感染症予防対策をしながら個別指導の実施 2. 親子ですこやかな食生活をおくるための食教育を行う ①SNSを活用したの食育に関する情報発信の実施 ②5歳児を対象とした家庭での親子料理推進事業いろはキッチンの実施 3. むし歯の保有率を減らす フッ化物塗布券の配布(1歳6か月児・3歳児)、健診会場での塗布(2歳6か月児) 4. 育児不安を解消し、子育てしやすい環境づくりを推進する 乳幼児健診、プレイルーム、スキップ教室の開催 5. 予防接種受診のPRを強化と、未接種児への受診勧奨
児童・生徒	●肥満の子も多い反面、やせの子もみられる ・肥満 小学生男子17.7%、女子16.2%(R3) 中学生男子18.9%、女子10.4%(R3) ・やせ 中学生男子 2.0%、女子 2.2%(R3) ●朝食を毎日欠食する小中学生がいる 小学生 1.8%(H23) 3.2%(H29) 中学生 0.7%(H23) 3.9%(H29) ●若年妊婦がいる ●未成年での飲酒・喫煙がある(喫煙経験者) 男子9.0% 女子5.9% (飲酒経験者) 男子42.0% 女子25.0% (H30あっぱれ東北21調査結果より)	1. 家庭教育・学校教育を通じ朝食を食べることの大切さ、望ましい生活習慣・食生活の普及を行う ①ヘルシーっ子教室の開催 ②母子保健出前講座での食育教室の開催 2. 肥満予防・改善のための取り組みを推進する 家庭、保育園、小中学校と連携した個別相談の実施 3. 命の尊さや、性の正しい知識を普及する ①母子保健出前講座での性教育・思春期教室の実施 ②小学校4年生を対象に命の出前講座を実施 ③中学生を対象にSOSの出し方教育を実施する

①がん・・・生活習慣改善に取り組み、積極的に検診を受診する。
②循環器疾患・・・生活習慣改善に取り組み、特定健康診査の受診と重症化予防に努める。
③糖尿病・・・生活習慣改善に取り組み、特定健康診査の受診と重症化予防に努める。

- ①こころの健康づくり…こころの健康に関心を持ち、うつ病等に早期に対応できるよう取組む。
- ②休養(睡眠)…多様化したライフスタイルの中で、休養をとる必要性の理解を深める。
- ③認知症…症状に対する理解を深め、安心して生活できるような地域をめざす。

①感染症拡大防止・・・感染防止対策を徹底し、感染予防に努める。
②ワクチン接種・・・ワクチン接種に努め、発症及び重症化予防に努める。

- 1) 青森県国保連合会KDBシステム(対象:40～74歳国保加入者)
- 2) 29年度青森県健診結果集計データ
- 3) あっぱれ！東北21平成26栄養摂取状況調査
- 4) 平成28年度青森県県民健康・栄養調査より参照

V. 令和4年度献血推進計画

1. 血液確保に当たっての方針

人口減少や少子高齢化などにより、若年層の献血率は依然低下傾向が続いていることから、将来にわたる血液の安定的な確保が重要な課題となっています。一方、血液需要は増加が見込まれており、なかでも、血漿分画製剤は外国からの輸入に依存しており、国内自給により確保する体制の確立が強く求められています。

幸い当町では近年目標を達成できていますが、さらに町民の献血への関心を高め、その理解と献血への参加を促進するため、献血推進普及活動に取り組んでいきます。

2. 献血推進のための対策

- 1) チラシ等の作成、掲示（各事業所へ掲示）
- 2) 広報や回覧での呼びかけ
- 3) 粗品の進呈、献血推進員の協力
- 4) イベント時での呼びかけ（東北町生き生き健康まつり）
- 5) その他（血液センターによる新聞への折込チラシ、個別通知）

3. 献血実施日程

日 程	時 間	場 所
4 月 27 日（水）	9:00 ～ 12:00	航空自衛隊東北町分屯基地
	13:15 ～ 14:30	
5 月 19 日（木）	10:00 ～ 12:00	青森原燃テクノロジーセンター
	13:15 ～ 16:00	
6 月 10 日（金）	9:00 ～ 12:00	株式会社中村建設工業
	14:00 ～ 15:30	マエダストア乙供店
7 月 1 日（金）	10:00 ～ 12:30	東北町役場本庁舎
	13:45 ～ 16:00	
8 月 4 日（木）	10:00 ～ 12:00	航空自衛隊東北町分屯基地
	13:15 ～ 16:00	
11 月 6 日（日）	9:30 ～ 15:00	上北保健福祉センター（生き生きまつり）
1 月 23 日（月）	10:00 ～ 12:00	航空自衛隊
	13:15 ～ 16:00	
2 月 10 日（金）	9:15 ～ 12:00	株式会社中村建設工業
	14:00 ～ 16:00	ゆうき青森農業協同組合
2 月 21 日（火）	10:00 ～ 12:00	東北町コミュニティセンター未来館
	13:45 ～ 16:00	東北町保健福祉センター
3 月 9 日（木）	10:00 ～ 12:30	東北町役場本庁舎
	13:45 ～ 16:00	

VI. 衛生統計

1 人口動態（毎年1月1日～12月31日）

*青森県保健統計年報より

	10/1 推計人口（人）	出生		死亡		乳児死亡		死産		低出生体重児	
		総数（人）	率 （人口千対）	総数（人）	率 （人口千対）	総数（人）	率 （出生千対）	総数（人）	率 （出産千対）	総数（人）	割合
平成30年	17,601	96	5.6	275	16	0	0	3	30.3	9	9.4
令和元年	16,851	96	5.7	280	16.6	0	0	4	40	9	9.4
令和2年	16,325	103	6.3	287	17.6	0	0	4	37.4	5	4.9

2 人口構成（毎年3月31日現在）

*東北町町民課「年齢人口調べ」より

	年少人口 （0～14歳）	生産人口 （15～64歳）	老年人口 （65歳以上）	計
令和元年	1,848（10.5%）	9,442（53.7%）	6,307（35.8%）	17,597
令和2年	1,787（10.3%）	9,145（53.9%）	6,365（36.8%）	17,297
令和3年	1,745（10.2%）	8,918（52.4%）	6,364（37.4%）	17,027

単位：人

3 死亡の状況（毎年1月1日～12月31日）

*青森県保健統計年報より

	第1位	第2位	第3位	第4位		第5位
平成30年	悪性新生物 70 (25.5%)	心疾患 41 (14.9%)	脳血管疾患 26 (9.5%)	肺炎 20 (7.3%)	老衰 20 (7.3%)	糖尿病 8 (2.9%)
令和元年	悪性新生物 66 (23.6%)	心疾患 47 (16.8%)	脳血管疾患 40 (14.3%)	肺炎 18 (6.4%)		不慮の事故 14 (5.0%)
令和2年	悪性新生物 64 (22.3%)	心疾患 59 (20.6%)	脳血管疾患 33 (11.5%)	肺炎 22 (7.7%)		老衰 15 (5.2%)

単位：人

4 令和2年年齢3区分別死亡数

*青森県保健統計年報より

	年少人口 （0～14歳）	生産人口 （15～64歳）	老年人口 （65歳以上）	計
男	0	15(5.2%)	124(43.2%)	(48.4%)
女	0	10(3.5%)	138(48.1%)	148(51.6%)
計	0	25(8.7%)	262(91.3%)	287(100%)

単位：人

5 悪性新生物による死亡（毎年1月1日～12月31日）

*青森県保健統計年報より

	食道	胃	結腸・直腸	肝・肝内胆管	膵臓	気管支・肺	乳	子宮・卵巣	胆のう・胆道	その他	計
平成30年	2	8	6	5	12	15	4	2	4	12	70
令和元年	3	3	12	5	4	16	0	2	4	17	66
令和2年	1	10	4	5	7	19	2	1	6	9	64

単位：人

VII. 令和3年度保健衛生事業概要

●主要事業一覧表

1 母子保健事業

種 別	延日数	延人員	内 容
妊娠届出時保健指導	随時	80	保健師による保健指導
妊婦電話指導	随時	86	助産師による電話での保健指導
妊産婦訪問指導	随時	100	妊産婦を対象とした保健師(母子訪問指導員含む) による訪問指導
新生児・乳児訪問指導	随時	99	保健師による保健指導
幼児・その他(母子保健) 訪問指導	随時	17	保健師による保健指導
妊産婦委託健康診査	随時	1,809	受診票を発行し医療機関に委託
乳児委託健康診査	随時	83	受診票を発行し医療機関に委託
妊婦歯科健康診査	随時	35	町内歯科医院に委託
幼児フッ化物塗布事業	随時	47	1歳6か月児と3歳児に受診票を発行。町内歯科医院に委託
3か月児健診	24日	86	小児科医と整形外科医の健診(公立七戸病院に委託)
6か月児健康相談	10日	87	保健師と栄養士の保健指導・離乳食調理実習
1歳児健診	6日	89	内科医の健診、保健師、栄養士の保健指導
1歳6か月児健診	6日	91	内科医と歯科医の健診・保健指導
2歳6か月児健診	6日	85	歯科医の健診・フッ化物塗布
3歳児健診	6日	107	小児科医と歯科医の健診・心理判定員、保健師、栄養士の保健指導
5歳児健康相談	6日	112	心理判定員、保健師、栄養士の保健指導
3歳児精密健康診査	8日	10	心理判定員と保健師による発達相談
ことばの相談	3日	9	言語療法士によることばの個別相談
スキップ教室(個別相談)	5日	8	児童精神科医等による発達相談・各専門職による教育相談、育児相談
プレイルーム(事後指導教室)	4日	18	発達の経過観察が必要な児への集団遊びの場と保護者の育児講座
産前産後サポート事業(モンベベ・サロン)	16日	103	保健師と助産師と栄養士による保健指導・参加者の情報交換
マタニティセミナー・両親学級	6日	33	妊婦とその夫を対象とした講座
産後ケア事業	随時	18	産後の心身の回復のためのケア事業
命の出前講座	3日	110	小学校4年生を対象とした助産師による講座
母子保健出前講座	8日	464	小中学校の児童生徒及び保護者に対する医師、助産師、保健師、栄養士による出前健康養育
いろはキッチン	30日	119	保育園4・5歳児と保護者を対象とした食育指導
ヘルシーっ子教室	3日	74	放課後子ども教室の小学生を対象に栄養教育
東北町公式食育Instagramおいしくとうほく	4～3月	398	SNSを通して、食育の推進、子育て情報を発信 ※人数は登録者数
妊婦健康診査通院費助成事業	随時	64	妊婦健診のための通院費を回数分助成
ハイリスク妊産婦アクセス支援事業	随時	6	ハイリスク妊産婦が周産期母子医療センターへ通院するための費用助成

2 精神保健事業

種別	延日数	延人員	内容
つつじ作業所	131日	379	作業体験や生活訓練を通して社会参加を推進する場
SOSの出し方教育	2日	133	町内2中学校1年生に対しSOSの出し方について学習
訪問指導	51日	110	保健師による保健指導

3 健康増進事業

①健康教育

種別	延日数	延人員				内容
		～39歳	40～64歳	65歳～	計	
健康講座	11～3月	—	—	—	—	医師や大学講師による講話、運動指導士等による実技を東北町テレビにて放送
七戸病院ドック結果説明会	16	24	114	455	593	七戸病院人間ドック受診後の結果等について健康教育
保健協力員研修会	3				56	保健協力員を対象とした学習会
ヘルスメイト学習会	4				27	食生活改善推進員を対象とした学習会（1回は集合で開催、残り3回は東北町テレビで放映）
まるごと東北☆クッキング	4～3月				—	健康増進・地産地消を目的とした料理番組 東北町テレビにて放送

*新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため一部の健康教育事業を中止とした。

②健康相談

種別	延日数	延人員				内容
		～39歳	40～64歳	65歳～	計	
健診結果説明会	6	9	36	327	372	特定健診の受診者を対象とした事後指導
人間ドック事後指導	21	23	147	376	546	人間ドックの受診者を対象とした事後指導

*新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため一部の健康相談事業を中止とした。

③健康診査

種別		延人数					内容	
		延日数	～39歳	40～64歳	65歳～	計		
総合健診	特定健康診査	17	65	163	1,006	1,234	青森県総合健診センター委託 (対象：30歳～39歳の町民全員・40歳以上の国民健康保険に加入している方及び生活保護世帯の方・75歳以上の方)	
	肺がん検診	19		526	1,221	1,747	青森県総合健診センター委託(対象：40歳以上男女)	
	胃がん検診			467	782	1,249	青森県総合健診センター委託(対象：40歳以上男女)	
	大腸がん検診			568	1,223	1,791	青森県総合健診センター委託(対象：40歳以上男女)	
女性検診	乳がん検診	9		240	270	510	青森県総合健診センター委託(対象：40歳以上の女性で2年に1回の受診)	
	子宮がん検診	9	55	237	282	574	青森県総合健診センター委託(対象：20歳以上の女性で2年に1回の受診)	
骨密度検診		4		45	30	75	青森県総合健診センター委託（40・45・50・55・60・65・70歳の女性）	
七戸病院人間ドック		110	71	364	641	1,076	七戸病院委託 （対象：30歳～39歳の町民全員・40歳～74歳の国民健康保険に加入している方及び生活保護世帯の方）	
		肺がん検診	110		364	609	973	七戸病院委託（対象：40歳以上74歳の男女）
		胃がん検診	110		305	493	798	七戸病院委託（対象：40歳以上74歳の男女）
		大腸がん検診	110		360	630	990	七戸病院委託（対象：40歳以上74歳の男女）
		乳がん検診	110		98	162	260	七戸病院委託（対象：40歳以上74歳の偶数年齢の女性）
		骨密度検診	110		22	52	74	七戸病院委託（対象：40歳以上69歳の5歳刻みの女性）
		個別検診	乳がん検診	通年		37	3	40
子宮がん検診	12		37		7	56	八戸西総合健診プラザ委託(対象：20歳以上の女性で2年に1回の受診)	
乳がん検診			3		0	3	青森労災病院委託(対象：40歳以上の女性で2年に1回の受診)	
健(検)診受診者の推移							特定健診・各種がん検診	
歯周疾患検診			7	18	12	37	歯科医院委託（対象：30・40・50・60・70歳）	

④訪問指導

種別		延人数					内容
		延日数	～39歳	40～64歳	65歳～	計	
訪問指導		14	0	4	10	14	健診要指導者や疾患治療中などに訪問指導

4 特定保健指導【特定健診の結果内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の予防が必要となった者への指導】

①動機づけ支援

対象者 99 人

項目	延 人 員					内 容
	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～74歳	計	
初回面接	4	6	20	32	62	目標の設定
3ヵ月後の支援レター	4	0	14	27	45	生活習慣の確認
6ヵ月後のアンケート	2	0	11	17	30	実施状況の確認・評価

②積極的支援

対象者 人

項目	延 人 員				内 容
	40～49歳	50～59歳	60～64歳	計	
初回面接	3	8	4	15	目標の設定
1ヵ月後の支援	0	0	0	0	実施状況の確認・目標の修正
2ヵ月後の支援	0	0	0	0	実施状況の確認
3ヵ月後の支援	2	8	0	10	実施状況の確認・中間評価
4ヵ月後の支援	0	0	0	0	実施状況の確認
5ヵ月後の支援	1	4	0	5	実施状況の確認・目標の修正
6ヵ月後の支援	0	3	0	3	実施状況の確認・評価

③特定健診受診率向上対策

情報の発信・提供から対策まで	追加健診対象者数
----------------	----------

1 母子保健事業

(1) 母子健康手帳の交付

①妊娠届出数推移

H28	H29	H30	R1	R2	R3
121人	98人	88人	96人	100人	80人

②令和3年度

妊娠届出週数

妊娠11週以下	妊娠12週～19週	妊娠20週～27週	妊娠28週以降	計
71人	8人	0人	1人	80人

※妊娠35週の届出があった。

(2) 妊娠中の保健指導

①妊婦・同居者の喫煙状況（妊婦連絡票から集計 単位％）

年度		H28	H29	H30	R1	R2	R3
妊婦の喫煙率等	喫煙なし	73.6	76.5	81.8	80.0	78.8	81.3
	喫煙あり	1.7	1.0	2.8	1.1	0.0	2.5
	妊娠後禁煙	22.4	22.4	14.8	18.9	20.2	16.2
同居者の喫煙率		55.4	44.9	52.3	45.3	47.5	46.2

②要訪問指導妊産婦連絡票数

H30	R1	R2	R3
13人	18人	11人	13人

＜内訳＞

妊婦3人、産婦10人。支援依頼内容は、外国人妊婦、支援者不足、精神的支援。

③妊婦電話指導

R2	R3
94人	86人

全妊婦へ電話し、妊娠経過や妊婦の健康状態の確認、サポート体制等の確認等保健指導を行った。

④妊産婦相談

R2	R3
29人	39人

来所や電話による相談を実施。週3日は助産師が対応している。妊婦1人、産婦・乳児の相談38人の来所があった。

(3) 母子訪問指導（延人員）

妊婦	産婦	新生児	未熟児	乳児	幼児	その他	計
1	99	45	2	52	9	8	216

○産婦訪問ではエジンバラ産後うつ病自己調査票（EPDS）、育児支援チェックリスト、赤ちゃんへの気持ち質問表を活用。EPDS高得点の産婦・要支援妊産婦・特定妊婦には、訪問や電話等で継続支援を行った。

(4) 産後ケア事業

＜目的＞ 産後の心身の体調回復の不安、育児の援助が受けられない、育児に不安のある方が医療機関等で産後のケアや育児サポートを受けることにより、身体的回復と心理的な安定を促進し健やかな育児ができるよう支援する。

＜実施状況＞

対象	実施場所	利用者数	内容
出産後おおむね1年までの産婦及び乳児	さくら助産院	半日コース 延16人 1日コース 延2人	産婦の心身のケア・健康状態の確認・休息・授乳方法、乳房ケアの相談 赤ちゃんのお世話の相談など

(5) 妊婦歯科健康診査

＜目的＞ ・妊婦に対する歯科健康診査を実施することにより、早産、低出生体重児の出産を予防すること、また、妊婦及び生まれてくる子の口腔衛生の向上に寄与することを目的とする。

＜実施状況＞

対象者 (妊娠届出数)	受診者	受診率 (%)	結果				
			異常なし	異常あり	う歯あり	歯肉炎 (要指導)	歯肉炎 (要治療)
80	35	43.8	4	31	23	26	13

(6) 幼児フッ化物塗布事業

＜目的＞ 乳幼児の歯科保健対策としてう蝕予防に有効なフッ化物塗布を実施することにより、乳幼児の健全な口腔の育成を促すとともに、歯科保健に対する意識の向上を目的とする。

＜実施状況＞

	対象者	受診者	受診率 (%)
1回目 (1歳6か月児に交付)	97	30	30.9
2回目 (3歳児に交付)	107	17	15.9

(7) 乳幼児健康診査・健康相談

＜目的＞ ・母親が育児負担や育児不安が少なく、楽しく子どもを育てることができるよう、不安や疑問に対する相談の場としてはもちろん、育児に関する学習や発見の場、様々な人との出会いの場（交流の場）、自分の育児を振り返る場とする。

＜実施状況＞

	3か月児	6か月児	1歳児	1歳6か月児	2歳6か月児	3歳児	5歳児
回数	月2回	10回	5回	6回	5回	6回	6回
内容	身体測定 小児科診察 股関節脱臼検査 など	身体測定 個別相談 離乳食指導 など	身体測定 個別相談 内科診察 歯科衛生指導 など	身体測定 個別相談 内科診察 歯科診察 など	身体測定 個別相談 歯科診察 ブラッシング指導 フッ素塗布 など	身体測定 個別相談 小児科診察 歯科診察 尿検査 など	身体測定 個別相談 発達相談 など
場所	公立七戸病院	東北町保健福祉センター・ 上北保健福祉センター	東北町保健福祉センター・ 上北保健福祉センター	東北町保健福祉センター	東北町保健福祉センター・ 上北保健福祉センター	東北町保健福祉センター	東北町保健福祉センター

① 乳児健診・健康相談受診状況

対象 年度	3か月児健診			6か月児健康相談		
	対象者	受診者	受診率 (%)	対象者	受診者	受診率 (%)
R1	88	82	93.2	96	91	94.8
R2	83	82	98.8	107	91	85.0
R3	87	86	98.9	94	87	92.6

② 幼児健診受診状況

対象 年度	1歳児健診			1歳6か月児健診			2歳6か月児健診		
	対象者	受診者	受診率 (%)	対象者	受診者	受診率 (%)	対象者	受診者	受診率 (%)
R1	104	99	95.2	108	106	98.1	100	91	91.0
R2	104	84	80.8	92	90	97.8	107	84	78.5
R3	93	89	95.7	97	91	93.8	91	85	93.4

対象 年度	3歳児健診			5歳児健康相談		
	対象者	受診者	受診率 (%)	対象者	受診者	受診率 (%)
R1	130	126	96.9	98	97	99.0
R2	115	110	95.7	107	107	100.0
R3	110	107	97.3	113	112	99.1

・ 3歳児健康診査精密検査

内容	精検者数	精検受診者数	受診率 (%)
耳鼻科	37	31	83.8
眼科	9	8	88.9
尿	5	3	60.0
その他	0	0	0.0

・ 1歳6か月児・3歳児精密健康診査

開催日	受診者
4月21日 (水)	1人
6月30日 (水)	1人
7月21日 (水)	1人
8月 4日 (水)	1人
12月15日 (水)	1人
2月9日 (水)	2人
3月10日 (水)	2人
3月30日 (水)	1人

・ ことばの相談 (言語聴覚士)

開催日	受診者
6月9日 (水)	3人
10月20日 (水)	3人
2月2日 (水)	3人

③ 5歳児健康相談事後指導教室

＜ 目 的 ＞ ・ 5歳児健康相談で事後指導が必要な幼児を対象に個別相談・親子遊びを実施し、保護者に対して適切な関わりを助言し、子育て支援をする。

・ スキップ教室 (児童精神科医、心理士、心理判定員、教育担当者、作業療法士、学務課、保健師)

開催日	人数	相談内容 (延人数)		
		発達相談	ことばの相談	教育相談
4月28日 (水)	1人	1人	0人	0人
6月30日 (水)	1人	1人	0人	0人
10月27日 (水)	3人	3人	0人	0人
3月9日 (水)	2人	0人	2人	0人
3月30日 (水)	1人	1人	0人	0人

・ プレイルーム (児童精神科医、心理士、心理判定員、作業療法士、学務課、保健師)

開催日	場 所	内 容	参加者数
4月28日 (水)	東北町保健福祉センター	幼児遊び (歌・手遊び) 運動、製作 保護者へのミニ講話	3組
7月21日 (水)			3組
9月29日 (水)			3組
11月24日 (水)			4組
3月30日 (水)			5組

＜ 評 価 ＞ ・ スキップ教室では、児の発達や特徴に応じた相談ができるようにスタッフの調整をしながら行い、適切な関わり方や就学に向けてのアドバイス等を行い、専門的な支援が必要な児には各種療育機関を紹介した。

(8) 健康教育

①産前産後サポート事業（モン・ベベサロン）

＜ 目 的 ＞ 妊娠・出産、子育てに関する悩み等に対して地域のボランティアや保健師、助産師、管理栄養士、保育士等の専門職が、不安や悩みを傾聴し相談支援を行う。あわせて、地域の母親同士の仲間づくりを促し、妊産婦が家庭や地域における孤独感を軽減し、安心して妊娠期を過ごし育児にのぞめるようサポートする。

＜ 場 所 ＞ 東北町保健福祉センター

対象	開催回数	内容	参加者数
妊産婦	延16回 (月2開催)	・体重・身長計測 ・離乳食相談 ・ベビーマッサージ ・産後ダンス ・ふれあい遊び ・子育て支援センターによるおもちゃづくり ・ミニ講話・情報交換・個別相談	延103人 妊婦1人 産婦102人

※感染拡大防止対策のため、開催中止の回あり。

＜ 評 価 ＞ ・参加者からは「子育てに関しての情報を得ることができた」、「ベビーマッサージを覚えて楽しく触れ合えた」、「気分転換になった」などの感想が聞かれた。
 ・参加者同士で情報交換をし、仲間づくりの場となっていた。
 ・妊婦学級を同日に開催し、妊娠中から相談・交流できる場として、サロンを紹介しているが、妊婦の参加は少なかった。

②マタニティセミナー・両親学級

＜ 目 的 ＞ 出産を迎える父親、母親が妊娠中の生活や出産、育児に対する知識を学び、安心して出産を迎えることができる。また、参加者同士の交流や情報交換を通して、不安や悩みの相談ができる場とする。

開催日	対 象	内 容	参加者数
6/14 (月)	妊娠前期 の方	○ 妊娠中と産後の栄養・妊娠中の体重管理 ○ 妊娠10か月カレンダーと体の変化 ○ 妊娠中に起こりやすい病気 ○ 妊娠中の性生活・日常生活の過ごし方 ○ 妊婦体操の実践	0人
9/13 (月)			0人
12/6 (月)			2人
3/14 (月)			0人
5/10 (月)	妊娠後期 の方	○ 分娩の準備 ・こころの準備・体の準備（補助動作・呼吸法など） ・物の準備 ○ 分娩の進み方と過ごし方 ○ 産後の体の変化と過ごし方 ○ 赤ちゃんの生理、栄養、お世話	5人
7/12 (月)			3人
10/11 (月)			3人
1/17 (月)			0人
5/30 (日)	妊婦 と夫	○ 妊娠シミュレーション体験 ○ 赤ちゃんの沐浴・着替え・オムツ交換を学ぼう ○ 赤ちゃんの心臓の音を聞いてみよう ○ 妊娠中の食生活・家族の食生活について ○ パパ・ママトークタイム	妊婦7人 夫7人
9/26 (日)			妊婦3人 夫3人

※ 2月の両親学級は感染症拡大防止対策のため中止。

＜ 評 価 ＞ ・今年度は、マタニティセミナーのプログラムを妊娠前期・妊娠後期にわけ実施した。妊娠前期の教室の参加者が少なかった。
 ・マタニティセミナーは、平日にモン・ベベサロンと同日に実施し、両親学級は日曜日に実施した。
 ・参加者からは、「夫と一緒に参加できて良かった」、「お風呂の体験や話し合いなどで理解が深められた」、「妻の考えや、夫の思いも聞くことができた」、「妊婦同士で話を共有することができて良かった」などの感想が聞かれた。

③命の出前講座

＜ 目 的 ＞ 「性」や「妊娠」、「出産」の知識を正しく学ぶことで、自分の生きる力の認識から導かれる自尊感情の向上および自他の「いのちの大切さ」を認識することをねらいとする。

開 催 日	場 所	対 象	内 容	参加者数
11月11日(水)	甲地小学校	小学校4年	講義 体験学習等	14人
12月4日(金)	上北小学校	小学校4年		59人
12月16日(水)	東北小学校	小学校4年		37人

＜ 評 価 ＞ いのちを大切にすることを感じる児童が多く、併せて友人や家族のいのちの大切さについても感じる事ができた機会となった

④母子保健出前講座

＜ 目 的 ＞ 児童生徒がこころや体の変化を理解し、生命や自他尊重の心を育むとともに、より良い生活を営むため生活習慣や食生活、性に関する正しい知識の普及啓発を行うことを目的とする。

開 催 日	場 所	対 象	内 容	講師
7月8日(木)	甲地小学校	全校75人	生活リズムと排便リズム	町保健師 町栄養士
9月10(金)	上北中学校	1学年54人	スポーツと食事	町栄養士
10月10日(日)	東北中学校	町内小中学生 の保護者 26人	子どもへの性教育 ～それぞれの役割について～	あおり女性 ヘルスケア研究所長 蓮尾 豊 氏
10月29日(金)	上北中学校	2学年54人	自分を信じる力を育てよう	弘前医療福祉大学 保健学部看護学科 教授 小玉 有子 氏
11月17日(水)	上北中学校	3学年59人	・妊娠経過、妊婦の生活(講義) ・乳幼児の発育・発達(講義) ・妊娠シミュレーター体験 ・赤ちゃんの接し方(体験)	町保健師 町助産師
2月3日(水)	東北中学校	2学年66人	・妊娠経過・妊婦の生活(講義) ・乳幼児の発育・発達(講義) ・自分自身の成長と 地域とのかかわりについて (調べ学習発表)	町保健師 町栄養士
2月10(木)	東北中学校	1学年64人	スポーツと食事	町栄養士
3月16日(金)	東北中学校	2学年66人	スポーツと食事	町栄養士

＜ 評 価 ＞ ・自分自身の「こころ」について考える機会となり、自己を肯定することの意義について学ぶ機会になった。
・保護者向けの性教育では家庭での性教育の重要性について感じ、次は子どもにも聞かせたいという要望も多かった
・講義や体験学習から妊婦の生活や子育ての大変さを学ぶ機会となり、その中で両親への感謝の気持ちを持つことができていた

⑤いろはキッチン

＜目的＞ 食習慣が形成される幼児期に、家庭での親子料理の実践を促す食育事業を展開し、健康やかな食生活を送る事を目的とする。また、東北町公式食育Instagram「おいしく東北（oishiku_tohoku）」を情報発信として活用する。

開催日	対 象	講師・スタッフ	内 容	対象者数	参加者数
9月1日 ～ 9月30日	ハッピー保育園	町管理栄養士/ 各保育園保育士・栄養士/ 絵本専門士	①親子料理推進の為にレシピ集と食育包丁の配布 ②食育絵本の配布と読み聞かせの実施 ③町公式Instagramを活用したレシピ配信	17人	6人
	ポプラ保育園			9人	9人
	小川原保育園			4人	1人
	乙供文化保育園			12人	11人
	上野保育園			18人	5人
	中央ポプラ保育所			13人	12人
	水喰保育園			5人	5人
	第三保育園			5人	5人
	わかさぎ保育園			8人	2人
	第二保育園			15人	11人
	乙供保育園			4人	3人
	カナリヤ保育園			9人	9人
	町外保育園通園者			6人	0人
計	13	-	-	125人	79人

＜評価＞ 子ども用の包丁と親子で調理するレシピ集の配布を通して、多くの参加者が家庭内での調理体験を促す食育で、親子ともに一緒に調理することの大切さ・楽しさ、一緒に食事をすることの大切さ・楽しさを感じていた。また、子どもの手伝い頻度が増加し、子どもの食事の困りごとや食事のマナーも良い変化が見られた。

⑥ヘルシーっ子教室

＜目的＞ 児童が生涯にわたって望ましい生活習慣・食生活を実践できるよう、食教育を実施し、児童の心身の健全育成に寄与する事を目的とする。

開催日	対 象	講 師	内 容	参加者数
7月29日(水)	甲地小学校 子ども教室	町管理栄養士	健康教育： おやつ正しい食べ方を知ろう ＊おやつと運動 ダンス	15人
7月30日(木)	上北小学校 子ども教室			33人
8月3日(月)	東北小学校 子ども教室			26人
計	3回	-	-	74人

＜評価＞ 新型コロナウイルス感染症の予防対策として、「3密」を避けながら、参加者へミニ歩数計を配布し、おやつについて栄養と運動のエネルギーの関係について、身体を動かしながら学ぶ健康教育を行った。

⑦東北町公式食育Instagramおいしくとうほく

〈 目 的 〉 ソーシャルネットワークサービス「Instagram(インスタグラム)」を通して、食育の推進やイベント情報などを町内外に広く発信し、町の食文化のPRと健康増進に寄与することを目的に実施する。

年度	フォロワー数	投稿数						エンゲージメント数 (投稿へのいいね、コメント、シェア保存等)						投稿1件当たりのエンゲージメント平均					
		特産品PR	事業PR	子育て情報	レシピ	その他	計	特産品PR	事業PR	子育て情報	レシピ	その他	計	特産品PR	事業PR	子育て情報	レシピ	その他	計
R1	135	2	6	3	5	－	16	59	152	75	120	－	406	29.5	25.3	25.0	24.0	－	25.4
R2	301	15	13	23	35	2	88	424	357	520	1,040	39	2,380	28.3	27.5	22.6	29.7	19.5	27.0
R3	398	10	8	5	28	0	51	321	314	206	893	0	1,734	32.1	39.3	41.2	31.9	－	34.0

〈評価〉 新型コロナウイルス感染拡大対策により事業ができない中でも、町が主催する食育事業やレシピの配信、食に関するタイムリーなイベントや食情報、特産品のPR、離乳食や乳幼児期に関する子育て情報等、多数の情報発信を行うことができた。

2 精神保健事業

(1) 精神障害者保健・福祉・医療サービス

自立支援医療費及び精神保健福祉手帳の申請（福祉課より）

ア 自立支援医療費精神通院	304人	(R4年3月31日現在)
イ 精神保健福祉手帳保持者	166人	(")
(1級39人、2級28人、3級28人)		

(2) つつじ作業所（精神障害者小規模作業所）

*実施状況

- ① 回 数 : 週4回（月・水・木・金）
- ② 開所日数 : 年間 131日
- ③ 時 間 : 午前10時～午後3時
- ④ 場 所 : 東北町中央公民館
- ⑤ 作業内容 : 梱包テープを使ったかごづくり、木工作品づくり、裂き織製品

*通所者の状況

- ⑥ 通所者実人員 : 6人（内訳：統合失調症4人・その他2人）
- ⑦ 通所者延人員 : 379人（日平均3.0人）

(3) 心の健康づくり～自殺予防対策～

①健康教育

<目的> あらゆる機会を通して、こころの健康に関する正しい知識の普及・啓発に努める

(ア) 健康教育

開催日	事業名	対 象	内 容	講 師	参加者数
6月11日 (金)	SOS出し方教育	東北中学校1年	ストレスを力に！ ～私のサポーター探し～	養護教諭 保健師	64
10月27日 (水)	SOS出し方教育	上北中学校1年	ストレスを力に！ ～私のサポーター探し～	養護教諭 保健師	69
合 計				2回	133

(イ) 心の健康に関する知識の普及

開催日	内 容	人数
1月9日 (日)	成人式出席者へ「こころの相談窓口ネットワーク相談先一覧」とパンフレットやストレスチェックカードを配布。	149
4月～2月	人間ドック事後指導参加者へ「家族みんなのこころの健康を守るメンタルケア」を配布。	546

3 健康増進事業

(1) 健康教育

① 健康講座

＜目 的＞ 生涯を通じた健康づくりを推進するため町の実態を踏まえて、生活習慣の予防、その他健康に関する事項について計画的に講座を開催し、正しい知識の普及と行動変容に向けた主体的な取り組みを推進する。

＜対象者＞ 一般町民

開催日時	場 所	内 容	参加者数 (人)
1月～3月	東北町テレビで放送	講演：「ウイルスと免疫の関係」 講師：公立七戸病院院長 小野 正人 氏	—
1月～3月	東北町テレビで放送	講演：「メディコトリム～運動は魔法のくすり～」 講師：青森県立中央病院 健康運動指導士 西村 司 氏 境 沙織 氏	—
3月24日（木）	東北町保健福祉センター	講演①：「あなたに伝えたい 女性ホルモンのチカラ」 講師：保健衛生課保健師 大久保 恵子 講演②：「春のリラックス セルフエステサロン会」 講師：インストラクター 福田 由佳子 氏	13

＜評 価＞ 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、東北町テレビを活用し、より多くの方に視聴する機会を増やすことで、生活習慣病、重症化予防につながるよう実施した。また、感染状況を考慮し、女性の健康をテーマに1回開催したが、「娘にも伝えたい内容だった」「骨盤底筋群体操をしたい」「セルフマッサージをしたい」等という声が聞かれた。次年度も、新型コロナウイルスの蔓延状況をみて対象者や実施時期なども考慮し、住民のニーズに合わせて今後も実施の検討をしていく。

②まると東北☆クッキング

＜目 的＞ 東北町テレビで放送する料理番組を通して、野菜摂取量の増加、食塩摂取量の減少、主食・主菜・副菜を組み合わせた食の実践等の健康増進に寄与するとともに、地産地消の取組をさらに強化することを目的に実施する。

＜対象者＞ 一般町民

号	テーマ	内容(料理名/健康情報)	講師
5月	春一番のアスパラガス	アスパラとツナマヨの押し寿司/アスパラガスの機能性	・管理栄養士 向井庸平 ・助手兼アナウンサー 檜崎留美子 氏 ・東北町食生活改善推進員協議会役員一同 ・東北町宝湖活性化協議会会長 和田富雄 氏 ・青森県農林水産部 盛美咲氏
6月	キャベツもやっぱり東北町産	キャベツとひき肉のドーム蒸し/キャベツの機能性	
7月	大根は東北町の土とヤマセが育てる	マーボー大根/大根の機能性	
8月	小川原湖産わかさぎで骨まで元気に	わかさぎ南蛮漬け/東北町食改PR	
9月	野菜をしっかり食べよう	夏野菜と豚肉のカレー炒め/なすの機能性	
10月	だしのうま味で減塩	かぼちゃと豆腐の揚げ出し/県だし活PR	
11月	旬のしらうおを楽しもう	しらうお漬け丼/宝湖活性化協議会PR	
12月	ながいも大好きパートⅠ	ながいもの甘辛はさみ焼き/長いものの機能性	
2月	にんじん大好きパートⅡ	にんじんたっぷり鶏サラダ/にんじんの機能性	
3月	白菜は冬が旬	白菜と鮭の中華クリーム煮/ほうれん草の機能性	

＜評 価＞ 2年目の開催となり、他課や団体等に依頼し、外来講師の出演が可能となった。住民にも番組が周知されてきたようで、保健センターにレシピをもらいに来る方が増えている。また、今年度は年度末に今までの放送分のレシピ集を作成し、番組協力者や食育関連団体、一般住民に配布できた。視聴率の把握は難しいため、番組内容についてコメントをもらう等して内容を改善していく。

(2) 健康相談

事業名	対象	開催日	実施場所	従事者	回数	参加者数（人）
町 民 健 康 相 談	一般町民	4月～3月	東北町保健福祉センター 上北保健福祉センター	看護師	98	1,244

(3) 健康診査

●集団健診（青森県総合健診センター）

《上北地区》

開催日	場 所
5月24日（月）	町民体育館
5月25日（火）	町民体育館
5月26日（水）	町民体育館
6月20日（金）	町民体育館
6月21日（月）	町民体育館
6月22日（火）	町民体育館
6月23日（水）	町民体育館
1月19日（水）	町民体育館

●女性検診（青森県総合健診センター）

7月12日（月）	町民体育館
7月13日（火）	町民体育館
7月14日（水）	町民体育館
1月18日（火）	町民文化センター

●七戸病院1日人間ドック

・計 110日間実施

●個別女性検診

子宮がん検診（八戸西健診プラザ）：通年

乳がん検診（八戸西健診プラザ・青森労災病院）：通年

①特定健診

●受診者数（30歳以上39歳の全町民・40歳以上の国民健康保険加入者・生活保護受給者・後期高齢者）

	受診者数	要医療・要精検
集団健診	1,234	577
七病ドック	1,076	320
計	2,310	897

②がん検診

●肺がん検診(40歳以上の人数)

	受診者数	要精検者数	精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見者数（疑）
集団健診	1,747	47	2.7	38	80.9	0(0)
七病ドック	973	17	1.7	15	88.2	0(0)
計	2,720	64	2.4	53	82.8	0(1)

●胃がん検診(40歳以上の人数)

	受診者数	要精検者数	精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見者数（疑）
集団健診	1,249	89	7.1	76	85.4	0(3)
七病ドック	798	46	5.8	33	71.7	0(0)
計	2,047	135	6.6	109	80.7	0(3)

●大腸がん検診(40歳以上の人数)

	受診者数	要精検者数	精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見者数（疑）
集団健診	1,791	126	7.0	100	79.4	0(0)
七病ドック	990	59	6.0	48	81.4	3(0)
計	2,781	185	6.7	148	80.0	3(0)

●子宮がん検診(20歳以上の人数)

	受診者数	要精検者数	精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見者数（疑）
集団健診	574	8	1.4	8	100.0	0(0)
【個別】 八戸西健診プラザ	56	2	3.6	2	100.0	0(0)
計	630	10	1.6	10	100.0	0(0)

●乳がん検診(40歳以上の人数)

	受診者数	要精検者数	精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見者数（疑）
集団健診	510	36	7.1	29	80.6	0(0)
七病ドック	260	15	5.8	15	100.0	0(0)
【個別】 八戸西健診プラザ	40	2	5.0	2	100.0	0(0)
【個別】 青森労災病院	3	0	0.0	0	0.0	0(0)
計	813	53	6.5	46	86.8	0(0)

《東北地区》

開催日	場 所
9月 3日（金）	東北町保健福祉センター
9月 5日（日）	東北町保健福祉センター
9月15日（水）	東北町保健福祉センター
9月16日（木）	東北町保健福祉センター
10月1日（金）	東北町保健福祉センター
10月4日（月）	東北町保健福祉センター
10月5日（火）	東北町保健福祉センター
1月21日（金）	東北町保健福祉センター
1月22日（土）	東北町保健福祉センター

10月 3日（日）	東北町保健福祉センター
10月12日（火）	東北町保健福祉センター
10月14日（木）	東北町保健福祉センター
10月15日（金）	東北町保健福祉センター

(4) 健(検)診受診者の推移

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	備 考
特定健診	受診者数 (人)	1,647	1,342	1,503	40歳～74歳までの国民健康保険加入者 令和元・2年度は法定報告、令和3年度は実績報告より
	対象者数 (人)	3,352	3,275	3,916	
	受診率 (%)	49.1%	41.0%	38.4%	
胃がん検診 (男)	受診者数 (人)	515	413	438	算定年齢は50～69歳（地域保健事業報告より） 受診率＝ （「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」－ 「前年度及び当該年度における2年連続 受診者数」／「当該年度の対象者数」）×100
	対象者数 (人)	2,598	3,293	2,431	
	受診率 (%)	44.7%	30.6%	24.8%	
胃がん検診 (女)	受診者数 (人)	608	470	514	算定年齢は50～69歳（地域保健事業報告より） 受診率＝ （「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」－ 「前年度及び当該年度における2年連続 受診者数」／「当該年度の対象者数」）×100
	対象者数 (人)	2,548	3,293	2,398	
	受診率 (%)	53.8%	35.4%	28.9%	
大腸がん 検診 (男)	受診者数 (人)	750	854	628	算定年齢は40～69歳（地域保健事業報告より） 受診率=当該年度受診者数/全町民
	対象者数 (人)	3,721	4,407	3,495	
	受診率 (%)	20.2%	19.4%	18.0%	
大腸がん 検診 (女)	受診者数 (人)	946	1,098	811	算定年齢は40～69歳（地域保健事業報告より） 受診率=当該年度受診者数/全町民
	対象者数 (人)	3,489	4,207	3,273	
	受診率 (%)	27.1%	26.1%	24.8%	
肺がん検診 (男)	受診者数 (人)	741	854	627	算定年齢は40～69歳（地域保健事業報告より） 受診率=当該年度受診者数/全町民
	対象者数 (人)	3,721	4,407	3,495	
	受診率 (%)	19.9%	19.4%	17.9%	
肺がん検診 (女)	受診者数 (人)	897	1,043	773	算定年齢は40～69歳（地域保健事業報告より） 受診率=当該年度受診者数/全町民
	対象者数 (人)	3,489	4,207	3,273	
	受診率 (%)	25.7%	24.8%	23.6%	
子宮がん 検診	受診者数 (人)	391	427	427	算定年齢は20～69歳（地域保健事業報告より） 受診率＝ （「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」－ 「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」 ／「当該年度の対象者数」）×100
	対象者数 (人)	4,770	5,475	4,505	
	受診率 (%)	18.9%	17.6%	19.0%	
乳がん検診	受診者数 (人)	466	468	471	算定年齢は40～69歳（地域保健事業報告より） 受診率＝ （「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」－ 「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」 ／「当該年度の対象者数」）×100
	対象者数 (人)	3,489	4,207	3,273	
	受診率 (%)	29.8%	27.8%	29.9%	

*受診率における対象者(40～69歳)は「全町民」とする(地域保健事業報告より)。

(5) 健康診査事後指導

①集団健診結果説明会

開催日	場所	対象者(人)	当日来所者(人)	来所率(%)
6月24日	上北保健福祉センター	143	108	75.5
7月26日	上北保健福祉センター	127	102	80.3
10月6日	東北保健福祉センター	24	17	70.8
10月18日	東北保健福祉センター	73	63	86.3
11月4日	東北保健福祉センター	27	21	77.8
11月11日	東北保健福祉センター	97	61	62.9
計		491	372	75.8

・異常なしと医療継続の判定以外に対し、結果説明会を実施。

②公立七戸病院人間ドック事後指導

◎場所：東北町保健福祉センター（計12回）

開催日	対象者(人)	当日来所者(人) (健康相談者)	来所率(%)
4月28日	32	16	50.0
5月13日	32	22	68.8
5月27日	41	18	43.9
6月3日	37	18	48.6
6月17日	60	26	43.3
7月15日	65	29	44.6
9月30日	69	27	39.1
10月21日	47	23	48.9
10月28日	42	23	54.8
12月2日	32	18	56.3
12月16日	43	20	46.5
12月23日	55	40	72.7
計	555	280	50.5

◎場所：上北保健福祉センター（計9回）

開催日	対象者(人)	当日来所者(人) (健康相談者)	来所率(%)
5月20日	58	31	53.4
7月8日	50	22	44.0
7月21日	42	22	52.4
7月29日	53	23	43.4
9月16日	64	40	62.5
9月29日	68	39	57.4
11月25日	66	43	65.2
1月6日	61	25	41.0
1月20日	38	21	55.3
計	500	266	53.2

◎集団指導（内容）

保健師・栄養士による講話

「自分の健診結果を見つめなおそう」、「食事で病気は予防できる一感染症も生活習慣病も一」

<評価>

結果説明会に来所できない方は、後日、結果を取りに来てもらい説明し結果を返している。
栄養指導が必要な方へは、直接、栄養士からの指導を受けてもらい、食生活のアドバイスを実施。
特に若年で生活習慣病リスクが高い方へは重点的に栄養指導を実施している。

4 歯周疾患検診

<目 的>

高齢期における健康を維持し、食べる楽しみを享受できるよう、歯の喪失を予防することを目的とする。

<対象者>

町内に居住地を有する30歳・40歳・50歳・60歳・70歳の者を対象とする（対象者：計995人）。

＊40歳・50歳・60歳・70歳は補助対象

<実施方法>

町内5歯科医院に、問診と歯周組織検査を委託し実施（5月～翌3月）。

<受診結果>

対象者	受診者	受診率	異常なし	要指導	要精検	
995人	37人	3.7%	12人	16人	8人	＊記載なし1人

<男女別年齢別受診者数>

	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	計
男	4人	1人	3人	4人	7人	19人
女	3人	3人	2人	5人	5人	18人

<受診結果>

- ・受診率が低い。
- ・受診者の約6割が要指導・要精検となっている。

5 糖尿病性腎症重症化予防事業

<目 的>

糖尿病が重症化するリスクの高い医療機関未受診者・中断者を医療機関に結び付けるとともに、糖尿病で治療中の患者のうち、重症化するリスクの高い者に対して主治医の判断により保健指導対象者を選定し、合併症への移行を抑止することを目的とし実施する。

<実施状況> ＊対象者は東北町糖尿病性腎症重症化予防プログラムより抽出

対 象 者	実 施 状 況
① 医療機関未受診者 過去の健診において、空腹時血糖値126mg/dl（随時血糖200mg/dl）以上又はHbA1c6.5%以上の者でレセプトデータ等で医療機関未受診の者。	対象者：10名 全員へ受診確認通知と保健指導を実施。 面接による保健指導を2名へ実施。 医療機関受診率は70%。
② 医療中断者 過去に糖尿病治療歴のある患者で最終の受診日から6か月程度経過しても受診した記録がない者。	対象者：4名 全員へ受診確認通知と保健指導を実施。 医療機関受診率は0%。
③ 医療機関における抽出者 糖尿病治療中に尿アルブミン、尿蛋白、eGFR等により腎機能低下が判明し、糖尿病性腎症第3～4期と診断された上で、保健指導が必要と医師が判断した者。また、それ以外でも重症化のリスクが高く保健指導が必要と医師が判断した者。	対象者：1名 保健師、栄養士による面接指導を3～5か月間実施。 保健指導3か月後のHbA1c値は変化がなかったが、血糖自己測定値が安定。

<評 価>

医療機関未受診者については7割が医療機関につながっていたが、中断者は医療機関につながりにくいため、今後は中断者の状況把握や積極的な受診勧奨が必要である。また、ハイリスク者への保健指導では、定期的な面接指導により血糖値安定につながった。高血糖者が増加傾向のため、今後、医療機関や国保係とも情報共有しながら支援策を検討していく。

6 特定保健指導

<目的>

内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の該当者・予備群者の減少を目的に、対象者が自らの健康状態を自覚し、生活習慣改善のための自主的な取組みを継続的に行うことができるよう実施する。

<対象者>

特定健診受診者（40歳～74歳）

<実施状況>

① 情報提供（特定健診受診者全員）

内容：健診結果説明会時、受診者全員にパンフレット等を渡し、生活習慣の見直しや改善に役立つ情報の提供をする。

② 動機づけ支援・積極的支援

・対象者数（人）の推移（法定報告より） 但し令和2年度は4月末日現在

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
特定健診受診者	1,937	1,840	1,798	1,775	1,647	1,342	1,503
動機づけ支援	156	167	161	172	178	139	99
積極的支援	75	75	80	65	82	52	46
計	231	242	241	237	260	191	145

・支援実施状況

	令和3年度実施状況 人（%）	前年度からの 繰越分
動機づけ支援対象者数	99	74
内 初回面接実施者数（%）	62（62.6%）	0
内 督促終了者数（%）	40（64.5%）	32
内 終了者数（%）	22（35.5%）	42
内 継続実施中（%）	0（0.0%）	0
積極的支援対象者数	46	17
内 初回面接実施者数（%）	15（32.6%）	0
内 途中脱落者数（%）	6（40.0%）	10
内 終了者数（%）	3（20.0%）	7
内 継続実施中（%）	6（40.0%）	0

・終了者の状況（人）・・・R2年度からの繰越修了者、R3年度の終了者

	終了者	腹囲				体重				生活習慣	
		変化なし 1cm未満 の増減	減少		増加 1cm以上	変化なし 1kg未満 の増減	減少		増加 1kg以上	改善 あり	改善 なし
			1cm 以上	（再） 3cm以上			1kg 以上	（再） 3kg以上			
動機づけ支援	64	31	18	4	15	39	15	3	10	42	22
積極的支援	10	5	5	1	0	4	6	1	0	10	0
計	74	36	23	5	15	43	21	4	10	52	22

<評価>

・動機づけ支援の初回面接実施率は69.1%、積極的支援では44.2%であり、昨年に比べ初回面接実施率が増加した。健診結果説明会では、内臓脂肪症候群に移行しないための指導であること等を説明し初回面接を実施した。一方で、対象者が説明会に来所せず、面接できないといった課題もある。

・積極的支援では、支援の途中脱落が半数いる。連絡がつかない、「忙しい」といった理由で脱落する方も多くおり、最終評価までの到達が難しい。

・保健指導終了者では、約8割の方が生活習慣の改善につながっている。

7 特定健診受診率向上対策

(1) 情報の発信・提供

① 受診勧奨の推進・強化

- ア 保健協力員へ特定健診・特定保健指導学習会開催
- イ 保健協力員による特定健診受診勧奨チラシの毎戸配布
- ウ 広報に掲載
- エ 各健康教室時に特定健診受診勧奨（楽しく健康講習会・人間ドック事後指導等）
- オ 健診申し込み時に特定健診受診勧奨チラシの同封
- カ 健診料金無料

② メタボリックシンドローム予防のための情報の発信

- ア 保健協力員へ特定健診・特定保健指導学習会開催
- イ 各健康教室時に特定健診受診勧奨（楽しく健康講習会・人間ドック事後指導等）
- ウ 広報に掲載

(2) 未受診者対策

- ア 広報紙にて、追加健診の受診案内をした。（11～12月）
- イ 特定健診未受診者(国保加入者) 1,660名に追加健診の個別通知をした。（11月）
（申込み済み者を除く）

(3) 追加健診受診者数

追加健診対象者：健診未受診者
（長期未受診・6～9月の健診申込みしていたが未受診の者、新規対象者）

	場 所	開催日	受診者数	計
平成30年度	東北町保健福祉センター	H31年1月5日	47人	181人
		H31年1月7日	68人	
	上北保健福祉センター	H31年1月8日	66人	
令和元年度	東北町保健福祉センター	R2年1月8日	71人	220人
		R2年1月11日	64人	
	上北保健福祉センター	R2年1月7日 R2年1月8日	85人	
令和2年度	東北町保健福祉センター	R3年1月27日	180人	249人
		R3年1月28日	69人	
令和3年度	東北町保健福祉センター	R4年1月19日	60人	164人
		R4年1月21日 R4年1月22日	62人 42人	
	上北保健福祉センター			

8 予 防 接 種

(1) 四種混合・二種混合

	四種混合（DPT-IPV）					二種混合（DT）	
	対象者	生後3月から生後90月に至るまでの間にある者				対象者	11歳以上13歳未満の者
	1期初回（1回目）	1期初回（2回目）	1期初回（3回目）	1期追加			
	接種者	接種者	接種者	接種者			
R1	97	82	90	110	R1	84	
R2	106	111	105	114	R2	98	
R3	87	87	91	97	R3	96	

*平成26年12月より三種混合ワクチンの供給が停止。

(2) MR (麻しん風しん混合)

	MR (麻しん風しん混合)		
	第1期		第2期
	対象者	生後12月から生後24月に至るまでの者	5歳以上7歳未満の者であって、小学校就学前の者
	接種者		接種者
R1	101		128
R2	101		100
R3	89		113

(3) 日本脳炎

	日本脳炎			
	1期初回 (1回目)	1期初回 (2回目)	1期追加	2期
	対象者	生後6月から生後90月に至るまでの間にある者		
	接種者	接種者	接種者	接種者
R1	119	110	123	128
R2	120	133	148	137
R3	98	96	74	84

*令和3年度は平成15年4月2日～平成16年4月1日生まれ (18歳)、

平成30年4月2日～平成31年4月1日生まれ (3歳) へ勧奨

(4) ヒブワクチン

	ヒブワクチン			
	第1回	第2回	第3回	追加
	対象者	生後2月から生後60月に至るまでの間にある者		
	接種者	接種者	接種者	接種者
R1	93	91	79	101
R2	99	108	118	115
R3	84	90	84	94

(5) 小児用肺炎球菌

	小児用肺炎球菌			
	第1回	第2回	第3回	追加
	対象者	生後2月から生後60月に至るまでの間にある者		
	接種者	接種者	接種者	接種者
R1	93	91	79	101
R2	99	108	118	115
R3	86	88	89	89

(6) 水痘

	水痘	
	第1回	第2回
	対象者	生後12月から生後36月に至るまでの間にある者
	接種者	接種者
R1	104	93
R2	106	109
R3	86	84

*平成26年10月より定期接種化

(7) 成人用風しん

	抗体検査	予防接種
	希望者	希望者
	接種者	接種者
R1	7	16
	6	11
R2	6	11
	6	8
R3	11	10
	11	7

(8) B型肝炎

	B型肝炎		
	第1回	第2回	第3回
	対象者	1歳に至るまでの間にある者	
	接種者	接種者	接種者
R1	94	90	86
R2	103	107	92
R3	84	88	88

*平成28年10月より定期接種化

(9) ヒトパピローマウイルス

	ヒトパピローマウイルス		
	第1回	第2回	第3回
	対象者	12歳となる日の属する年度の初日から16歳となる日の属する年度の末日までの間にある女子	
	接種者	接種者	接種者
R3	30	26	14

*令和3年11月より「積極的勧奨の差し控え」終了

(10) 成人用肺炎球菌

	成人用肺炎球菌	
	対象者	65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる日の属する年度にある者 ※60～65歳未満の者
	接種者	接種者
R1		238
R2		175
R3		211

※心臓、腎臓、呼吸器及びヒト免疫不全ウイルスによる障害を有する方。

*平成26年10月より定期接種化

(11) ロタウイルス

	ロタウイルス				
	1価		5価		
	1回	2回	1回	2回	3回
	対象者	出生6週0日後から24週0日後までの間にある者	出生6週0日後から32週0日後までの間にある者		
	接種者	接種者	接種者	接種者	接種者
R2	24	20	18	16	10
R3	38	42	43	44	42

*令和2年10月より定期接種化

(12) インフルエンザ

	インフルエンザ			
	対象者	①65歳以上	②60歳～64歳	③生後6か月～中学生
	接種者	接種者	接種者	接種者
R1		4,646	7	1,415
R2		4,896	10	1,479
R3		4,621	13	1,151

*②は心臓、腎臓若しくは呼吸器障害の為身障者手帳を持っている方。

*③は、平成29年10月より任意インフルエンザとして1歳～中学生以下、平成30年10月からは生後6か月～中学生以下を対象に実施。

季節性インフルエンザ

	季節性インフルエンザ				
	対象者	生後6か月～13歳未満	16～18歳	妊婦	19～60歳未満 内部疾患
	接種者		接種者	接種者	接種者
R2	774		225	25	4
R3	620		173	21	8

(13) 広域予防接種

	四種混合	日本脳炎	ポリオ	MR	B C G	ヒブ	小児肺炎	水痘
R1	25	9	0	16	4	31	32	19
R2	44	12	0	8	10	42	43	20
R3	33	4	0	12	9	38	39	17

(14) 新型コロナウイルス

	1回目		2回目	
	対象者	接種率 (%)	対象者	接種率 (%)
	接種者		接種者	
	15,456	91.6	15,456	91.3
	14,159		14,111	

9 結核検診

対象者・受診者・接種者(人)、受診率・接種率(%)

結核健診				B C G	
	対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)	対象者	1歳に至るまでの間にある者
				接種者	
R1	6,618	2,419	36.6	89	
R2	6,621	2,178	32.9	102	
R3	6,424	1,775	27.6	93	

10 献血推進事業

(1) 実施状況

血液確保目標量は献血バス1台／1日あたり17.4ℓとし、目安は200mlを1人、400mlを43人とした。

実施日	場 所	受付	中止	200 ml	400 ml	採血者 (人)	確保量
5月18日 (火)	青森原燃テクノロジーセンター	49 人	5 人	0 人	44 人	44 人	17.6 ℓ
6月11日 (金)	中村建設工業	31 人	4 人	0 人	27 人	27 人	10.8 ℓ
	マエダストア乙供店	22 人	2 人	0 人	20 人	20 人	8.0 ℓ
7月 2日 (金)	東北町役場本庁舎	43 人	1 人	0 人	42 人	42 人	16.8 ℓ
8月 4日 (水)	航空自衛隊東北町分屯基地	35 人	1 人	0 人	34 人	34 人	13.6 ℓ
	東北町役場分庁舎	30 人	5 人	0 人	25 人	25 人	10.0 ℓ
10月28日 (木)	東北町役場本庁舎	50 人	10 人	0 人	40 人	40 人	16.0 ℓ
10月31日 (日)	上北保健福祉センター (生き活きまつり) ※中止	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0.0 ℓ
1月24日 (月)	航空自衛隊東北町分屯基地	49 人	2 人	0 人	47 人	47 人	18.8 ℓ
2月 4日 (金)	中村建設工業	33 人	0 人	0 人	33 人	33 人	13.2 ℓ
	ゆうき青森農業協同組合	23 人	5 人	0 人	18 人	18 人	7.2 ℓ
2月22日 (火)	東北町役場分庁舎	23 人	1 人	0 人	22 人	22 人	8.8 ℓ
	東北町保健福祉センター	11 人	1 人	0 人	10 人	10 人	4.0 ℓ
3月10日 (木)	東北町役場本庁舎	43 人	2 人	0 人	41 人	41 人	16.4 ℓ
計		442 人	39 人	0 人	403 人	403 人	161.2 ℓ
令和3年度目標				9 人	387 人	396 人	139.2 ℓ
達成率				0.0%	104.1%	101.8%	115.8%

※中止者の主な理由・・・比重不足、血圧、服薬、既往歴等

★実績累計（単位：目標量 $\frac{\text{ℓ}}{\text{人}}$ ）

年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標量	136.0	139.2	139.2	139.2	139.2
確保量	144.0	127.2	139.4	137.2	161.2
達成率	105.9%	91.4%	100.1%	98.6%	115.8%

11 健康・福祉まつり

令和3年度は新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため事業を中止とした。

12 地区衛生組織

(1) 東北町健康づくり推進協議会及び東北町献血推進協議会

<目的>

町民の健康保持増進に関する対策の推進及び献血思想の普及と献血者の組織化を図るとともに献血制度の適正な運営の確保を図る。

<実施状況>

開催日	場 所	内 容
令和3年10月26日 (火) 13:30～15:00	東北町 保健福祉センター	①「東北町の健康」事業報告について ②「東北町の健康」事業計画と成果について

(2) こころの健康づくり（自殺予防）対策協議会

<目的>

当町における自殺死亡率は、県平均より高い上十三地域の中でさらに高い水準で推移しており、総合的な自殺予防対策が求められる。
そこで、町内の関係機関・団体が連携し、自殺予防対策の推進を図る。

<実施状況>

開催日	場 所	内 容
令和4年1月13日 (木) 13:30～15:00	東北町 保健福祉センター	1. 情報提供 ①東北町の自殺の状況と自殺予防対策 ②青森県の自殺対策について 2. 情報交換 ①各領域におけるコロナ禍のこころの健康づくり

(3) 保健協力員協議会

区分	開催期日	内 容	参加人数	場 所
総会 役員会	R4. 4	令和3年度保健協力員協議会総会は書面表決により実施	書面開催	
	R3. 6. 10	第1回役員会：事業計画について	11	上北保健福祉センター
	R4. 3. 16	第2回役員会：総会について	13	上北保健福祉センター
	R4. 1. 31	保健協力員研修会研修会事前準備	10	上北保健福祉センター
会議 研修会 (町)	R3. 11. 26	第1回保健協力員研修会（オンライン開催） ①情報提供「保健協力員の活性化に関する調査」 青森県立保健大学健康科学部 准教授 千葉敦子氏 ②講演「脳卒中の予防、発症から最新治療」 八戸市立市民病院血管内脳神経外科 部長 鈴木一郎氏	10	上北保健福祉センター
	R4. 2. 3 R4. 2. 10	第2回保健協力員研修会（2/3上北地区・2/10東北地区） ①町の健診について ②健診PRチラシ配布について ③新型コロナワクチン追加接種（3回目）について	上北地区 21 東北地区 25	小川原湖交流センター「宝湖館」 東北町保健福祉センター
	R3. 11月 ～R4. 1月	ヘルスアップちゅっぴ講座（全3回） ～地区組織及び大学と連携した国保事業～ 1講座「コロナ太りを解消！メタボ改善のための食事」 2講座「生活習慣病予防の3つのポイント」 3講座「ちょこっとタオル体操」	— — —	東北町テレビで放送
会議 研修会 (県)	R3. 5. 28	青森県保健協力員会等連絡協議会総会	書面開催	
	R3. 9. 1	上十三保健所管内保健協力員連絡会合同研修会（横浜町）	中止 ↓ オンライン配信	
地区活動	R3. 5月～3月	6 か月児健康相談協力（年間9日）	15	東北町保健福祉センター
	R3. 5月～3月	3 歳児健診協力（年間6回）	9	東北町保健福祉センター
	R3. 6月～3月	モンベベサロン協力（年間10回）	11	東北町保健福祉センター
	R3. 9月10月1月	東北地区総合健診協力（年間9日）	23	東北町保健福祉センター
	R3. 5月6月1月	上北地区総合健診協力（年間8日）	31	東北町民文化センター他
	R3. 7月	新型コロナウイルスワクチン接種勧奨	—	各地区
	R3. 12. 14	おもしろ健康測定	4	小川原湖交流センター「宝湖館」
	R4. 2～3月	健診受診PR活動	—	各地区
	R4. 3月	新聞「東北町保健協力員便り」発行	—	
	—	放課後子ども教室健康劇	中止	
	—	健康福祉まつり	中止	

(4) 東北町食生活改善推進員会

ア 総会及び役員会等

事業名	期日	内 容	場 所	推進員数
東北町食生活改善推進員総会及び委嘱状交付	4月	令和2年度東北町食生活改善推進員総会 書面決議	—	—
第1回役員会	6月10日	令和3年度事業計画・上十三管内食改事業について	東北町保健福祉センター	11
第2回役員会	3月22日	監査会/令和4年度総会について	東北町保健福祉センター	10
小計			2回	21

イ 県及び上十三管内会議及び研修会

事業名	期日	内 容	場 所	推進員数
上十三管内関係	4月8日	監査会・三役会	十和田合同庁舎	1
	4月	上十三保健所管内総会 書面決議	—	—
	12月16日	上北地域食育ネットワーク協議会	十和田合同庁舎	1
	3月28日	会長会議	十和田合同庁舎	1
県関係(上十三会長として出席)	4月20日	県総会 役員改選	青森県庁	1
	5月13日	県総会 青森県委託事業		1
	5月20日	ローソン青森県健康弁当試食会		1
	6月21日	だし活事業等の説明		1
	7月14日	世代別プロジェクト事業説明、日食協事業		1
	8月2日	世代別プロジェクト事業説明市町村説明会	青森県教育センター	1
	9月7日	かんたん野菜レシピ普及事業、だし活事業、日食協事業	青森県庁	1
	9月28日	かんたん野菜レシピ試食提供実施	東奥日報社ビル	1
	10月18日	かんたん野菜レシピ普及事業、だし活事業	青森県庁	1
	11月18日	ローソン青森県健康弁当試食会		1
	12月14日	各事業の経過報告		1
	3月10日	活動集会、会員数、会計報告		1
	3月5日	県会長会議		1
小計			15回	15

ウ 町、研修及び学習会

事業名	期日	内 容	場 所	推進員数
ヘルスメイト学習会		青森中央短期大学と連携した国保事業 東北町テレビ健康教育番組「ヘルスアップちゅっぴい講座」		
	11月1日 ～11月30日	健康講座①肥満・メタボ改善を目的としたダイエット指導 青森中央短期大学 食物栄養学科 助手 千葉綾乃	東北町テレビ放送	59
	12月1日 ～12月31日	健康講座②生活習慣病予防を目的とした栄養改善指導 青森中央短期大学 食物栄養学科 助手 白取敏江	東北町テレビ放送	59
	1月7日～ 2月28日	健康講座③メタボ改善・フレイル予防を目的とした筋肉トレーニング 青森中央短期大学 専攻科福祉課専攻 講師 齋藤雅美	東北町テレビ放送	59
軽スポーツ交流会	3月	令和3年度東北町食生活改善推進会事業について 軽スポーツ ボッチャ 交流会 レザークラフト作り	小川原湖青年の家	27
小計			4回	204

エ 高齢者食生活改善事業

事業名	期日	対 象	内 容	場 所	推進員数	参加者
ヘルスメイトカフェ	11月27日	元町	低栄養を予防しよう	元町集会所	3	14
	12月7日	乙供坂下・栄町	低栄養を予防しよう	坂下・栄町集会所	2	8
	12月8日	上北新町・本町	低栄養予防とカルシウム	上北保健福祉センター	4	14
小計					3回	36

オ 県委託事業

事業名	期日	対 象	内 容	場所	推進員数	参加者
乳幼児健診等における「だし活」伝道業務	7月8日	3歳児健診受診親子	できるだけパックの提供と減塩の大切さについての説明	東北町保健福祉センター	1	13
	9月17日				1	22
	11月12日				1	21
かんたん野菜レシピ事業	10月13日	役場職員 (20~50代)	「かんたん野菜レシピ」2品試食提供 野菜摂取量を増やすポイントについて説明		2	40
シニアカフェ	10月27日	ほがらか教室参加者 (70歳以上フレイル予防教室)	食事の大切さについての講話 ドリルを使ったクイズ	上北保健福祉センター	2	15
	10月29日			東北町保健福祉センター	2	21
小計					6回	9 132

カ 町への協力

事業名	期日	対 象	内 容	場所	推進員数
いろはキッチンレシピ撮影	7月7日	5歳児親子	いろはキッチンレシピの調理・撮影補助	上北保健福祉センター	3
まるごと東北☆クッキング	7月11日	一般町民	東北町テレビ健康料理番組への出演・補助		11
	8月24日				2
	10月7日				2
	10月14日				2
	11月11日				2
	12月21日				1
小計					7回

13 環境衛生

(1) 狂犬病予防対策

①狂犬病予防接種

年度	登録数 (頭)	注射済数 (頭)	接種率 (%)
H 2 9	1,364	985	72.2
H 3 0	1,244	1,033	83.0
R 1	1,313	988	75.2
R 2	1,273	955	75.0
R 3	1,158	945	81.6

②野良犬苦情処理

年度	処理件数 (件)
H 2 9	12
H 3 0	8
R 1	5
R 2	3
R 3	9

(2) 一般廃棄物処理状況

清掃センター

収集

(kg)

年度	可燃ごみ	資源ごみ					合計
		缶類	ガラス瓶	ペットボトル	紙類	計	
R 1	2,981,050	17,930	131,530	31,330	79,000	259,790	3,240,840
R 2	2,878,970	17,790	122,380	35,170	81,700	257,040	3,136,010
R 3	2,955,290	15,470	122,010	35,680	85,420	258,580	3,213,870

直接搬入

(kg)

年度	可燃ごみ	資源ごみ						合計
		缶類	ガラス瓶	紙類	牛乳パック	細断紙	計	
R 1	1,411,390	13,340	29,290	42,470	0	1,144	86,244	1,497,634
R 2	1,252,630	11,270	19,670	51,550	0	1,104	83,594	1,336,224
R 3	1,213,910	10,770	20,120	51,160	0	935	82,985	1,296,895

最終処分場

収集

(kg)

年度	粗大ごみ	不燃ごみ	計
R 1	109,206	72,804	182,010
R 2	122,292	81,528	203,820
R 3	124,012	53,148	177,160

一般搬入

(kg)

年度	雑介	金属	清掃デイ	廃材	計	不燃物等	計	合計
R 1	804,620	12,830	213,810	50,390	1,081,650	0	1,081,650	1,263,660
R 2	722,290	2,730	104,230	44,580	873,830	220	874,050	1,077,870
R 3	332,860	280	194,020	0	527,760	0	527,760	704,920

(3) 環境美化事業

環境美化推進員による清掃活動

実施日時 令和3年11月4日(水) 午前9時から

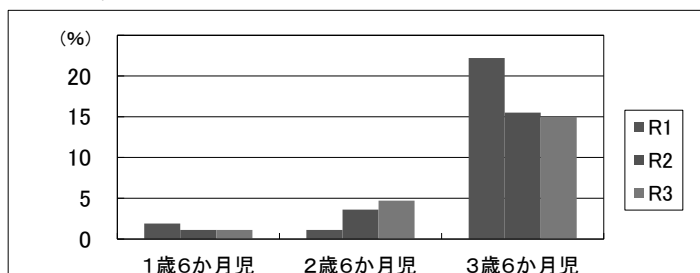
清掃場所 乙供駅周辺

参加人数 19人

VIII. そ の 他

1. 乳幼児歯科健診の状況

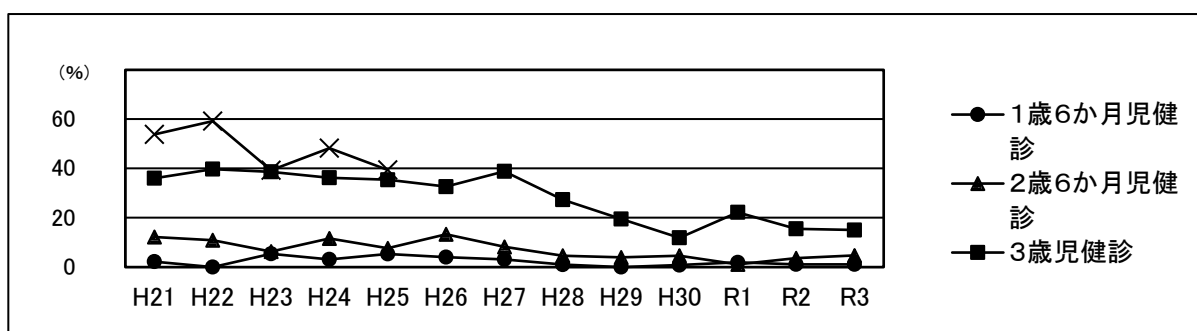
1) う歯有病率



	受診者数	う歯有病者数	有病率
1歳6か月児	91	1	1.1
2歳6か月児	85	4	4.7
3歳6か月児	107	16	15.0

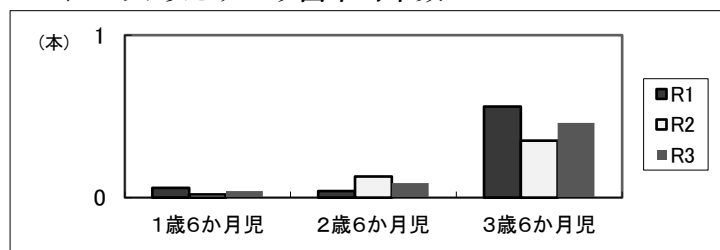
○う歯有病率

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
1歳6か月児健診	2.2	0.0	5.4	3.1	5.3	4.0	3.1	1.0	0.0	0.8	1.9	1.1	1.1
2歳6か月児健診	12.2	10.9	6.3	11.6	7.6	13.3	8.2	4.6	3.9	4.6	1.1	3.6	4.7
3歳児健診	36.0	39.7	38.6	36.2	35.4	32.6	38.8	27.3	19.5	11.9	22.2	15.5	15.0
5歳児健診	53.8	59.2	39.3	48.2	39.4	-	-	-	-	-	-	-	-



・健診によっては増加しているものもありますが、全体的には減少傾向にあります。

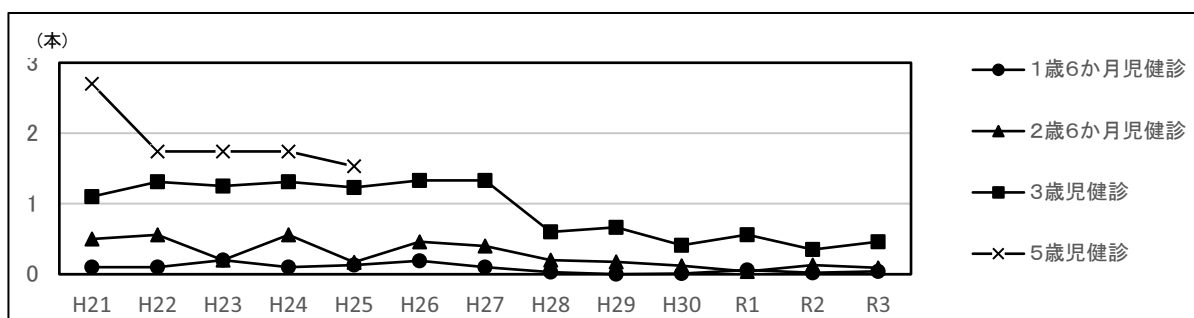
2) 1人あたりのう歯平均本数



	受診者数	う歯総数	平均本数
1歳6か月児	91	4	0.04
2歳6か月児	85	8	0.09
3歳6か月児	107	49	0.46

○う歯平均本数

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
1歳6か月児健診	0.10	0.10	0.20	0.10	0.13	0.19	0.10	0.03	0.00	0.01	0.06	0.02	0.04
2歳6か月児健診	0.50	0.56	0.20	0.56	0.17	0.46	0.40	0.20	0.17	0.12	0.04	0.13	0.09
3歳児健診	1.10	1.31	1.25	1.31	1.23	1.33	1.33	0.60	0.66	0.41	0.56	0.35	0.46
5歳児健診	2.70	1.74	1.74	1.74	1.53	-	-	-	-	-	-	-	-

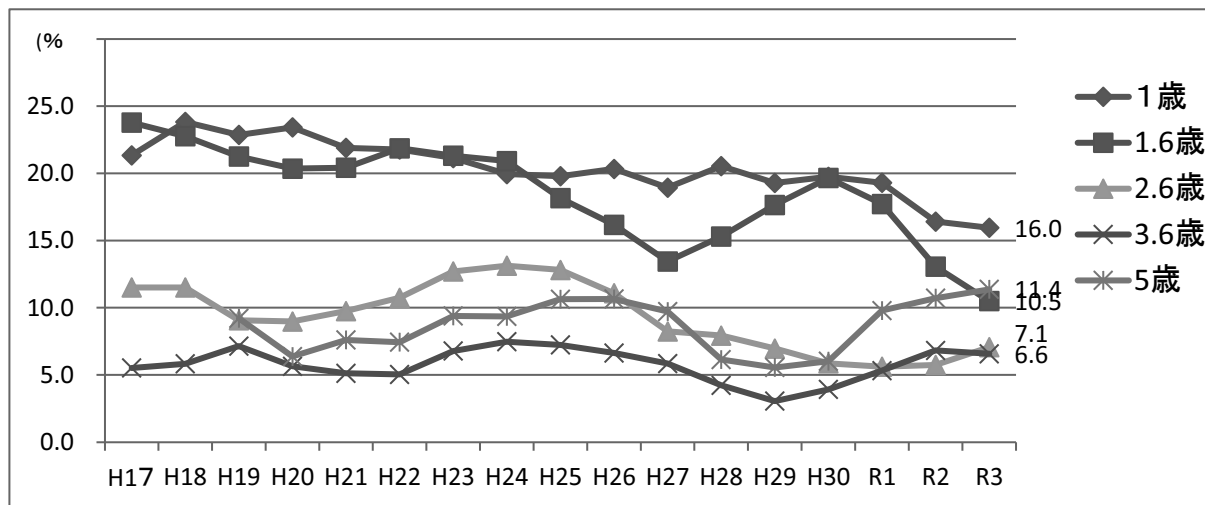


・3歳児健診でう歯平均本数がおおよそ半数に減少しています。

2. 子どもの体格および生活習慣の状況

1) 乳幼児の肥満の状況 (1歳～カウプ指数18以上・3歳～肥満度15以上)

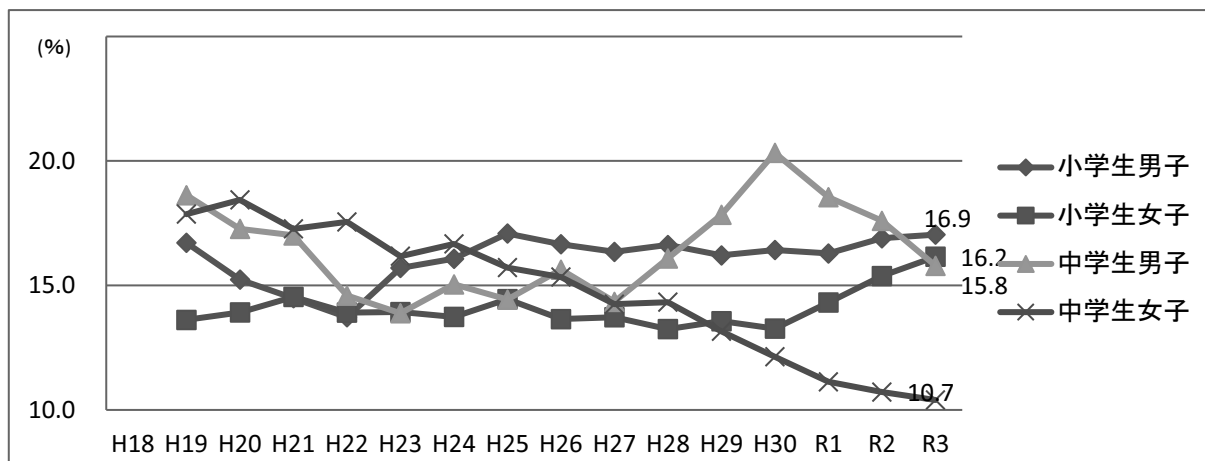
1歳、1歳6ヶ月では減少傾向 2歳6ヶ月では横ばい 3歳6ヶ月、5歳では増加傾向です。



(各年次結果と前後の年次結果を合わせ平均化したもの、R3年度は単年度)

2) 児童・生徒の肥満傾向児の状況 (肥満度20%以上)

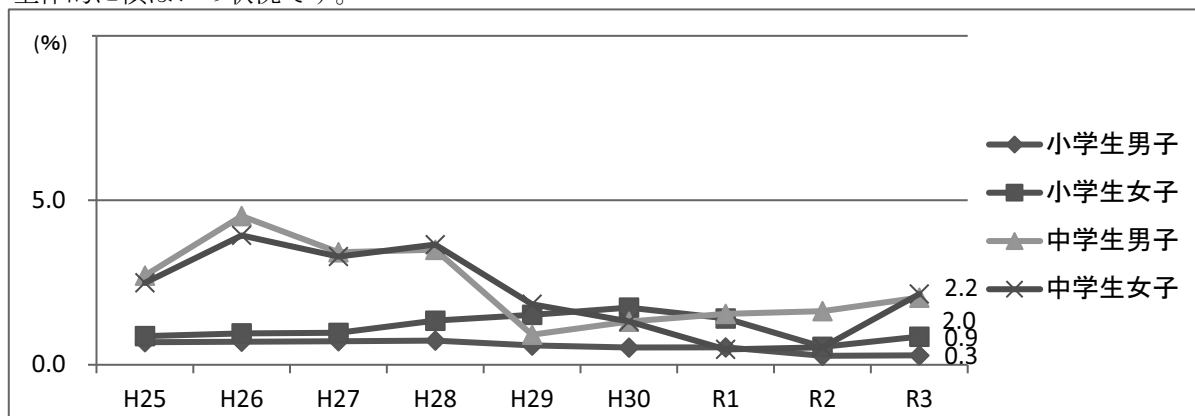
小学生男子は横ばい 小学生女子は減少傾向 中学生男子・女子は減少傾向です。



(各年次結果と前後の年次結果を合わせ平均化したもの、R3年度は単年度)

3) 児童・生徒の痩身傾向児の状況 (肥満度-20%未満)

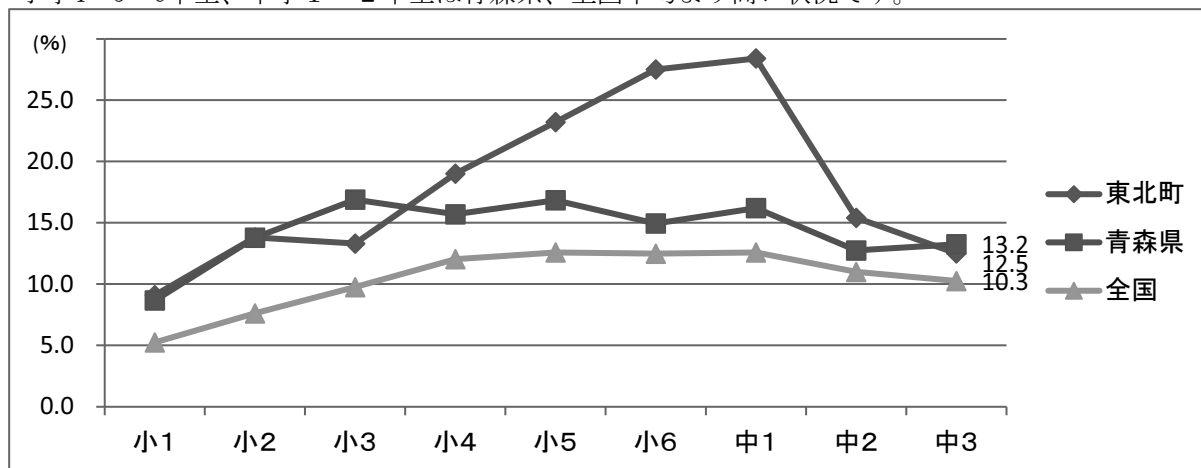
全体的に横ばいの状況です。



(各年次結果と前後の年次結果を合わせ平均化したもの、R3年度は単年度)

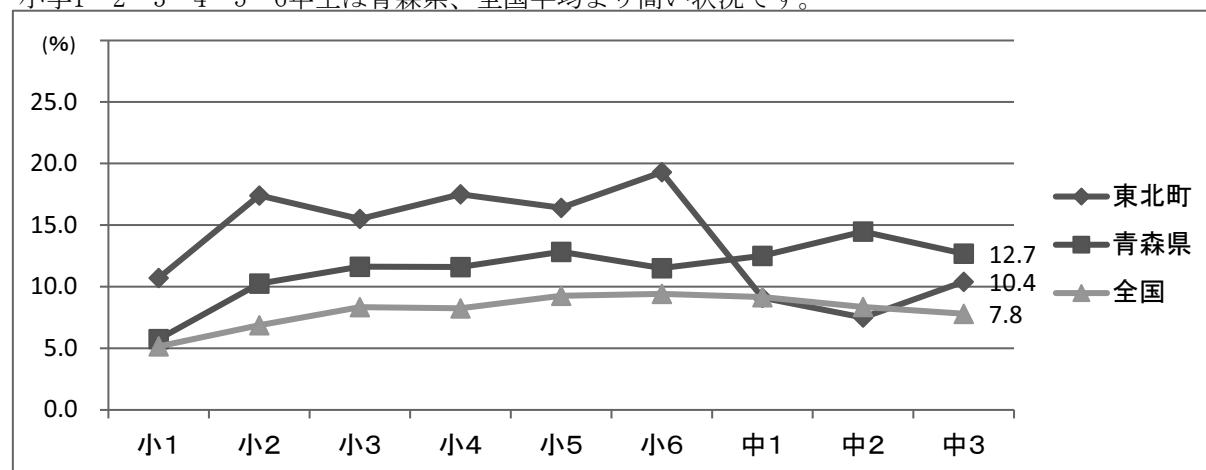
4) 令和3年度 男子児童・生徒 青森県・全国との比較（肥満度20%以上）

小学4・5・6年生、中学1・2年生は青森県、全国平均より高い状況です。



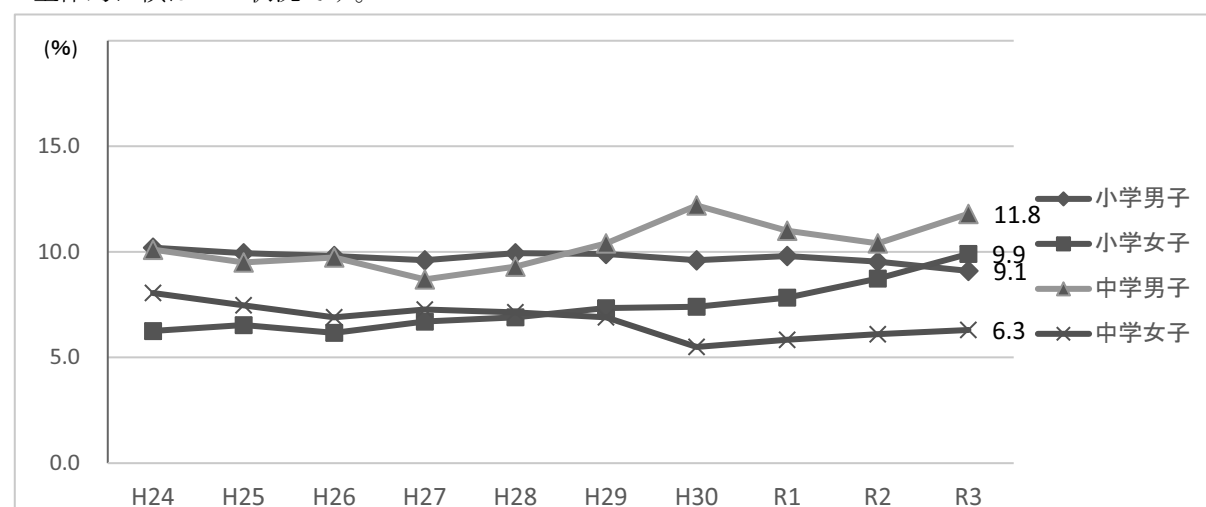
5) 令和3年度女子児童・生徒 青森県・全国との比較（肥満度20%以上）

小学1・2・3・4・5・6年生は青森県、全国平均より高い状況です。



6) 中等度・高度肥満の状況（肥満度30%以上）

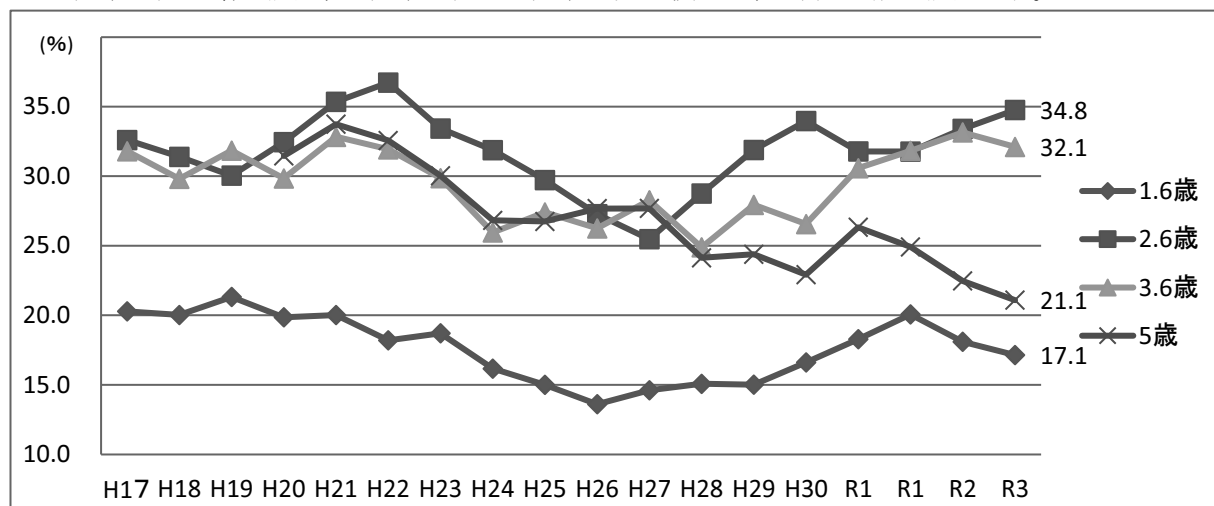
全体的に横ばいの状況です。



（各年次結果と前後の年次結果を合わせ平均化したもの、R3年度は単年度）

7) 甘味食品・甘味飲料1日3回以上の飲食習慣について (飲食習慣有り)

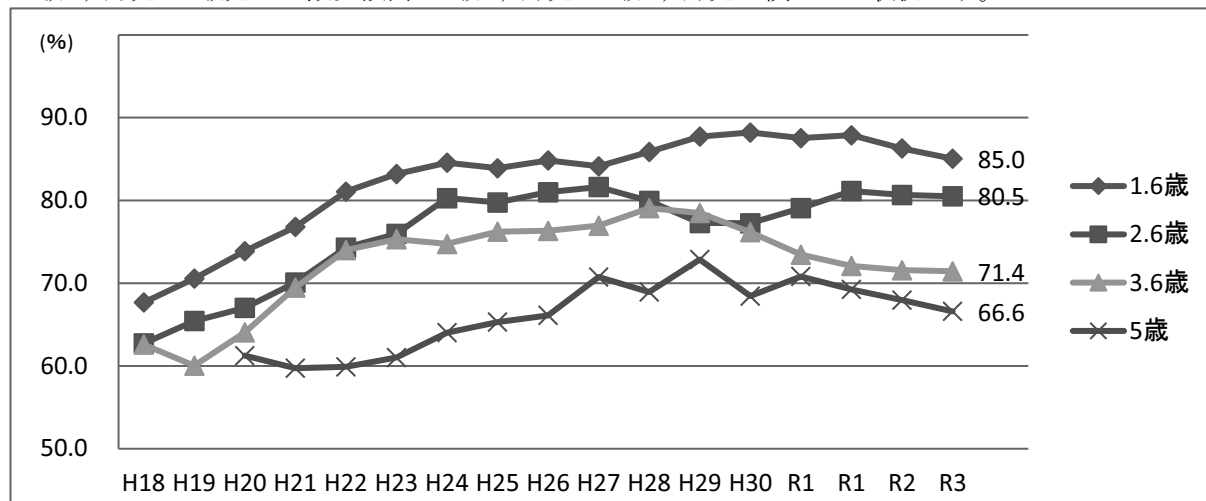
2歳6ヶ月児は増加傾向、1歳6ヶ月児・3歳6ヶ月児は横ばい、5歳児は減少傾向です。



(各年次結果と前後の年次結果を合わせ平均化したもの、R3年度は単年度)

8) 間食を与える時間について (時間を決めて与えている)

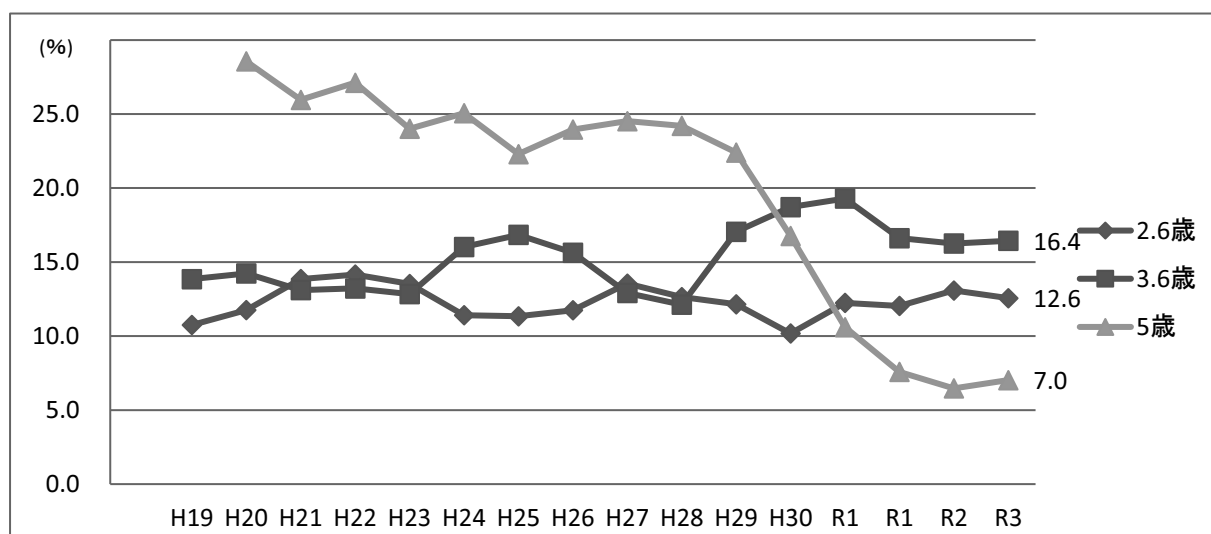
1歳6ヶ月児・5歳児では減少傾向 2歳6ヶ月児・3歳6ヶ月児は横ばいの状況です。



(各年次結果と前後の年次結果を合わせ平均化したもの、R3年度は単年度)

9) 就寝時間が10時以降の幼児の割合

2歳6ヶ月児・3歳6ヶ月児では横ばい、5歳児では減少傾向です。



(各年次結果と前後の年次結果を合わせ平均化したもの、R3年度は単年度)

3. 乳幼児健診身体・生活習慣の状況（令和3年度）

1) 乳幼児の体格

項目	1歳	1歳6ヶ月	2歳6ヶ月	3歳6ヶ月	5歳	1歳	1歳6ヶ月	2歳6ヶ月	3歳6ヶ月	5歳
	人数					割合(%)				
や せ	11	16	3	1	2	13.1	17.4	3.5	0.9	2.0
普 通	63	68	77	99	87	75.0	73.9	90.6	92.5	87.9
肥 満	10	8	5	7	10	11.9	8.7	5.9	6.5	10.1
計	84	92	85	107	99	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

* やせ: 1歳及び1歳6ヶ月 カウプ15.0以下、2歳6ヶ月～ 肥満度-15.0以下
 普通: 1歳及び1歳6ヶ月 カウプ-15.1～18.0未満、2歳6ヶ月～ 肥満度-15.1～15.0未満
 肥満: 1歳及び1歳6ヶ月 カウプ18.0以上、2歳6ヶ月～ 肥満度15.0以上

2) 授乳期の栄養及び幼児期のミルク状況

項目	3ヶ月	6ヶ月	1歳	1歳6ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1歳	1歳6ヶ月
	人数				割合(%)			
母 乳	27	22	15	15	39.1	28.2	17.9	16.3
混 合	21	40	46	4	30.4	51.3	54.8	4.3
人 工	21	16	16	19	30.4	20.5	19.0	20.7
卒 乳	-	-	7	54	0.0	0.0	8.3	58.7
計	69	78	84	92	100.0	100.0	100.0	100.0

3) 離乳食の開始時期

項目	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	7ヶ月	総計
人 数	0	1	65	11	0	77
割合(%)	0.0	1.3	84.4	14.3	0.0	100.0

4) 授乳期のミルク以外の飲み物

項目	6ヶ月	1歳	6ヶ月	1歳
	人数		割合(%)	
お茶・湯冷まし	51	76	58.6	85.4
ジュース・果汁	5	32	5.7	36.0
イオン水	7	18	8.0	20.2
乳酸菌飲料	0	6	0.0	6.7
牛乳	0	34	0.0	38.2
なにも飲まない	0	0	0.0	0.0
対象者数	87	89	100.0	100.0

*複数回答

5) 離乳食の状況

項目	1歳	1歳6ヶ月	1歳	1歳6ヶ月
	人数		割合(%)	
よく食べる	47	49	52.8	53.8
普通	14	19	15.7	20.9
小食	9	10	10.1	11.0
むら食い	23	34	25.8	37.4
かまずに飲み込む	13	-	14.6	-
偏食	-	55	-	60.4
遊び食い	-	27	-	29.7
その他	-	-	-	0.0
対象者数	89	91	100.0	100.0

*複数回答

6) 朝食を毎日たべているか

幼児	2歳6ヶ月	3歳6ヶ月	5歳	2歳6ヶ月	3歳6ヶ月	5歳
	人数			割合(%)		
毎日食べる	73	104	96	85.9	97.2	97.0
ときどき食べない	11	3	3	12.9	2.8	3.0
食べない	1	0	0	1.2	0.0	0.0
計	85	107	99	100.0	100.0	100.0

7) 朝食を毎日たべているか

	2歳6ヶ月	3歳6ヶ月	5歳	2歳6ヶ月	3歳6ヶ月	5歳
母親	人数			割合(%)		
毎日食べる	59	77	71	70.2	72.0	73.2
ときどき食べない	19	15	21	22.6	14.0	21.6
食べない	6	15	5	7.1	14.0	5.2
計	84	107	97	100.0	100.0	100.0
父親	人数			割合(%)		
毎日食べる	50	71	56	64.1	70.3	61.5
ときどき食べない	18	15	20	23.1	14.9	22.0
食べない	10	15	15	12.8	14.9	16.5
計	78	101	91	100.0	100.0	100.0

8) 楽しく食事を食べているか

項目	2歳6ヶ月	5歳	2歳6ヶ月	5歳
	人数		割合(%)	
いつも楽しい	54	65	63.5	65.7
たいてい	26	32	30.6	32.3
ときどき	3	0	3.5	0.0
いえない	2	2	2.4	2.0
計	85	99	100.0	100.0

9) 幼児期の食生活の困りごと

項目	2歳6ヶ月	5歳	2歳6ヶ月	5歳
	人数		割合(%)	
食べ過ぎる	7	—	8.2	—
小食	4	—	4.7	—
好き嫌い	31	15	36.5	13.4
早食い、よくかまない	10	—	11.8	—
時間がかかる	15	31	17.6	27.7
遊び食べをする	39	11	45.9	9.8
むらがある	44	25	51.8	22.3
甘いお菓子や飲み物を欲しがる	13	—	15.3	—
食べる事に興味がない	3	—	3.5	—
困りごとなし	11	24	12.9	21.4
対象者数	85	112	100.0	100.0

*複数回答 *—はアンケート項目なし

10) おやつは時間を決めてあげているか

項目	1歳	1歳6ヶ月	2歳6ヶ月	3歳6ヶ月	5歳	1歳	1歳6ヶ月	2歳6ヶ月	3歳6ヶ月	5歳
	人数					割合(%)				
決めてる	80	74	68	76	70	89.9	82.2	81.9	73.1	70.7
決めていない	9	16	15	28	29	10.1	17.8	18.1	26.9	29.3
計	89	90	83	104	99	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

11) 甘味食品・甘味飲料1日3回以上の飲食習慣

項目	1歳6ヶ月	2歳6ヶ月	3歳6ヶ月	5歳	1歳6ヶ月	2歳6ヶ月	3歳6ヶ月	5歳
	人数				割合(%)			
習慣あり	13	33	31	19	14.9	39.3	29.2	19.4
習慣なし	74	51	75	79	85.1	60.7	70.8	80.6
計	87	84	106	98	100.0	100.0	100.0	100.0

12) よく食べるおやつ

項目	1歳6ヶ月	2歳6ヶ月	1歳6ヶ月	2歳6ヶ月
	人数		割合(%)	
果物	74	70	81.3	82.4
せんべい	83	70	91.2	82.4
アメ、ガム、チョコ	23	54	25.3	63.5
甘い菓子	33	34	36.3	40.0
アイス	30	44	33.0	51.8
対象者数	91	85	100.0	100.0

*複数回答

13) 間食を与える人

項目	2歳6ヶ月	
	人数	割合(%)
母親	69	81.2
父親	34	40.0
祖母	25	29.4
祖父	10	11.8
その他	11	12.9
対象者数	85	100.0

*複数回答

14) 幼児期のよく飲む飲み物

項目	1歳6ヶ月	2歳6ヶ月	5歳	1歳6ヶ月	2歳6ヶ月	5歳
	人数			割合(%)		
牛乳	74	69	89	81.3	81.2	79.5
ジュース・イオン水	47	54	62	51.6	63.5	55.4
乳酸菌飲料	21	32	35	23.1	37.6	31.3
お茶・水	84	74	96	92.3	87.1	85.7
対象者数	91	85	112	100.0	100.0	100.0

*複数回答

15) おやつを与える時に気をつけていること

項目	2歳6ヶ月	
	人数	割合(%)
栄養面に注意している	18	19.8
甘いものを少なくしている	22	24.2
甘い飲み物・お菓子に偏る	28	30.8
スナック菓子が多い	16	17.6
その他	8	8.8
特に気をつけていない	22	24.2
対象者数	91	100.0

*複数回答

16) 起床時間

項目	2歳6ヶ月	3歳6ヶ月	5歳	2歳6ヶ月	3歳6ヶ月	5歳
	人数			割合(%)		
6時前	4	4	5	4.8	3.7	5.1
6時～6時30分	28	36	36	33.3	33.6	36.7
6時30分～7時	33	42	36	39.3	39.3	36.7
7時～7時30分	16	23	17	19.0	21.5	17.3
7時30分～8時	2	2	3	2.4	1.9	3.1
8時～	1	0	1	1.2	0.0	1.0
計	84	107	98	100.0	100.0	100.0

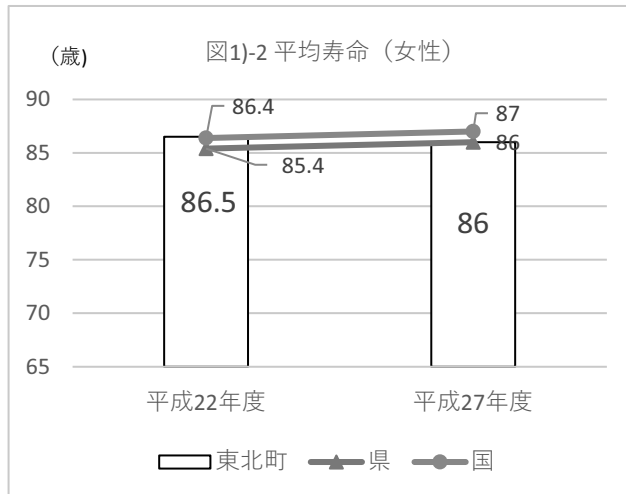
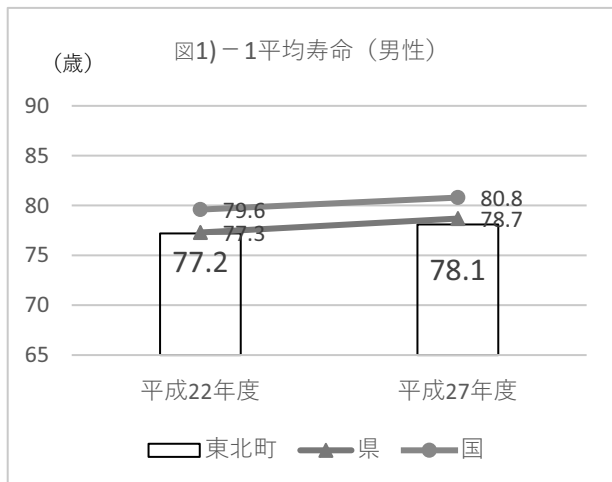
17) 就寝時間

項目	2歳6ヶ月	3歳6ヶ月	5歳	2歳6ヶ月	3歳6ヶ月	5歳
	人数			割合(%)		
8時前	2	0	0	2.4	0.0	0.0
8時～8時30分	8	1	3	9.5	0.9	3.1
8時30分～9時	12	10	8	14.3	9.3	8.2
9時～9時30分	37	48	37	44.0	44.9	37.8
9時30分～10時	13	31	44	15.5	29.0	44.9
10時～10時30分	11	14	4	13.1	13.1	4.1
10時30分～11時	1	3	0	1.2	2.8	0.0
11時以降	0	0	2	0.0	0.0	2.0
計	84	107	98	100.0	100.0	100.0

4. 健診データから見る健康指標（青森県国保連合会KDBシステム(対象：40～74歳国保加入者)）

1) 平均寿命

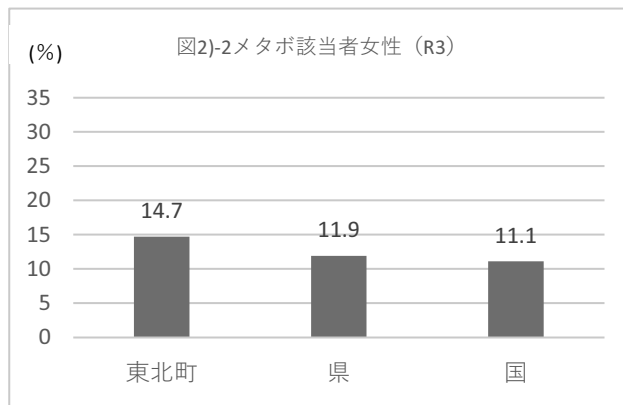
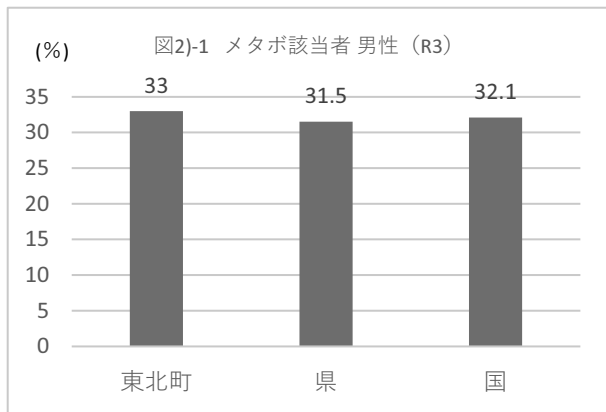
東北町の平均寿命は平成27年男性78.1歳（県内市町村37位）、女性86.0歳（県内市町村16位）です。



（厚生労働省平成22年・27年市町村別生命表より）

2) メタボリックシンドローム該当者（令和3年度）

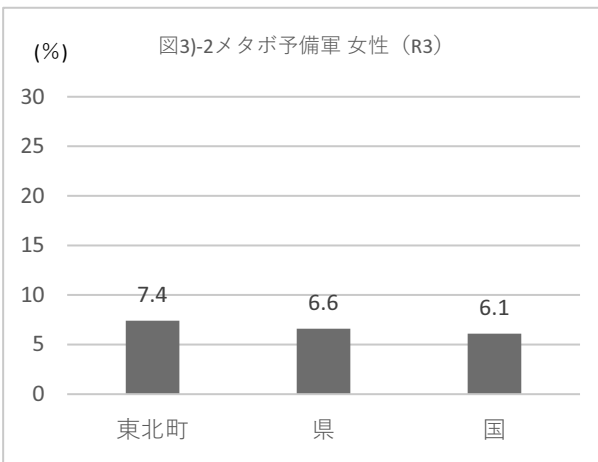
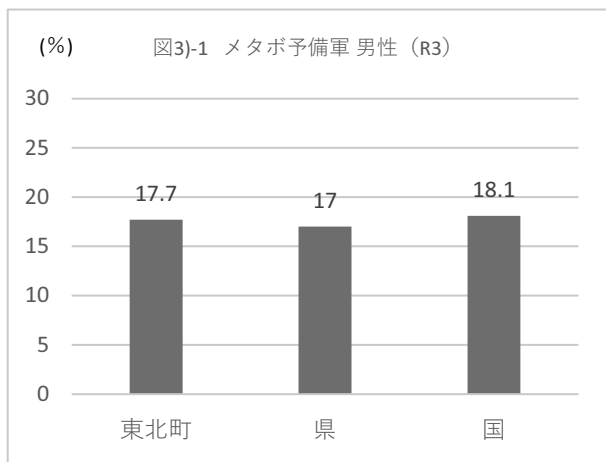
メタボリックシンドローム該当者は男性33.0%で県や国と同程度、女性14.7%で県や国より多い状況です。



（KDBシステム 地域の全体像の把握：健診（メタボリックシンドローム）

3) メタボリックシンドローム予備軍（令和3年度）

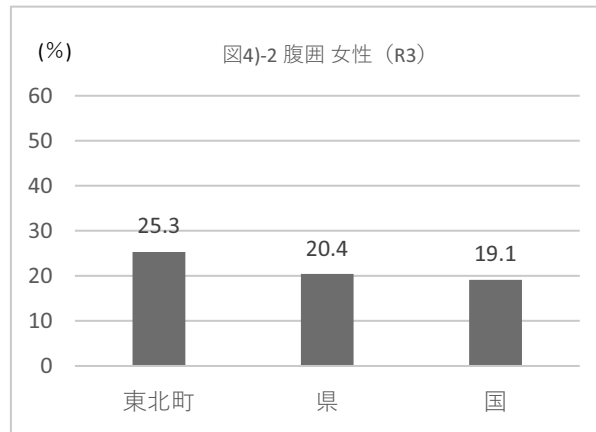
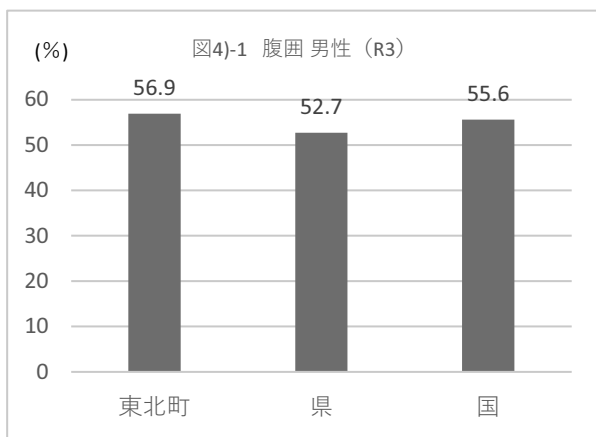
メタボリックシンドローム予備軍は男性17.7%、女性7.4%で県や国と同程度です。



（KDBシステム 地域の全体像の把握：健診（メタボリックシンドローム予備軍）

4) 腹囲検査値以上該当者（令和3年度）

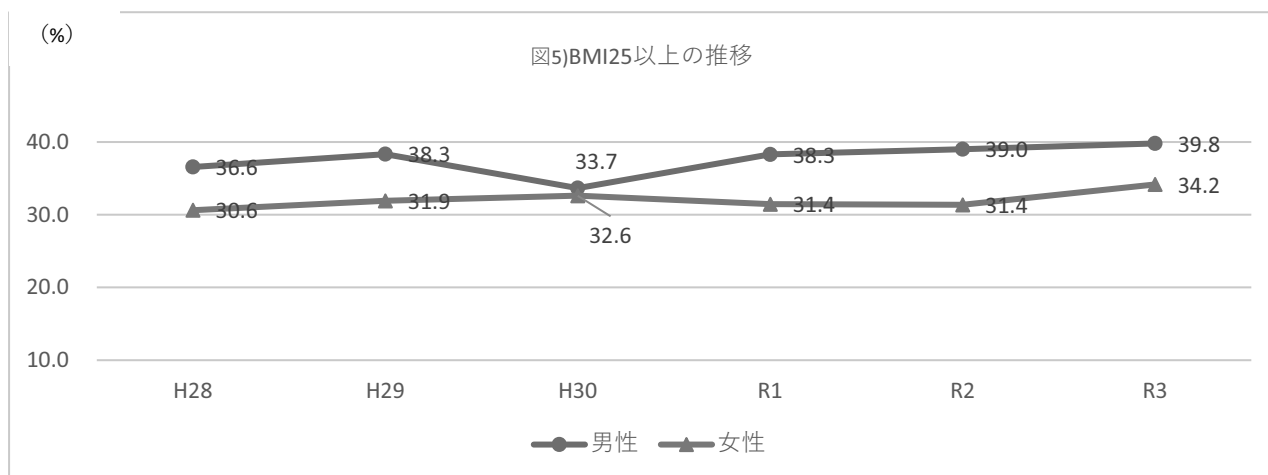
腹囲検査値以上該当者は男性56.9%で県や国と同程度、女性25.3%で県や国より多い状況です。



(KDBシステム 地域の全体像の把握：健診（腹囲）)

5) BMI25以上(肥満者)の割合 (BMI：ボディマスインデックス＝ 体重kg÷(身長m)²)

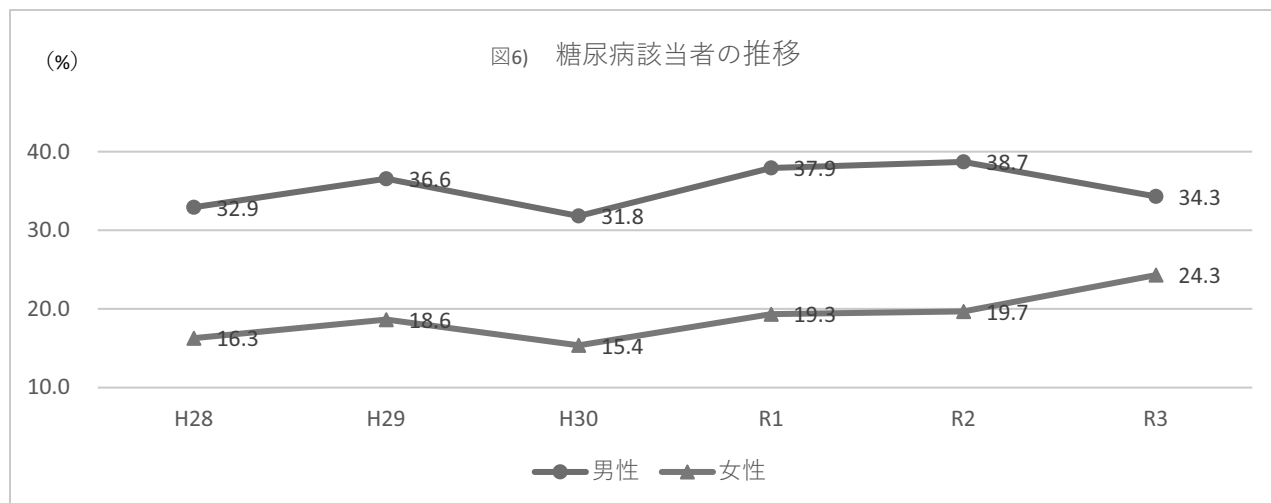
BMI25以上(肥満者)の割合は男性は39.8%で、女性は34.2%で男女共の近年増加しています。



(KDBシステム 特定健診結果)

6) 糖尿病基準値以上該当者の割合（特定健診結果で空腹時血糖値が126mg/dl以上またはHbA1c値6.5%(6.9)以上（糖尿病が疑われる値）の割合）

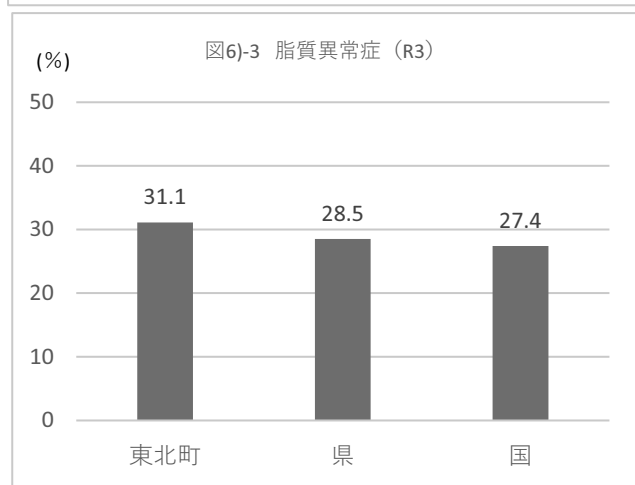
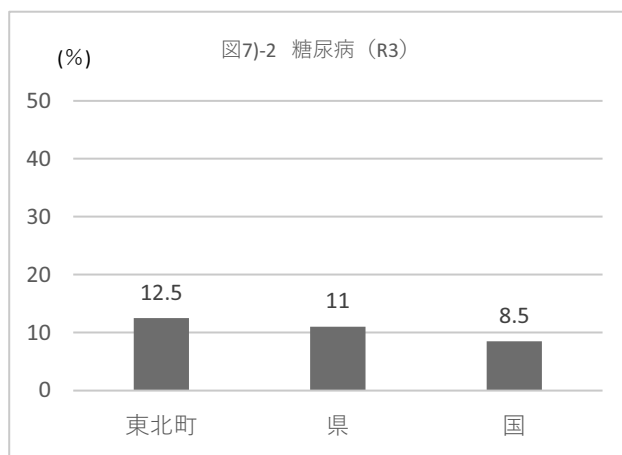
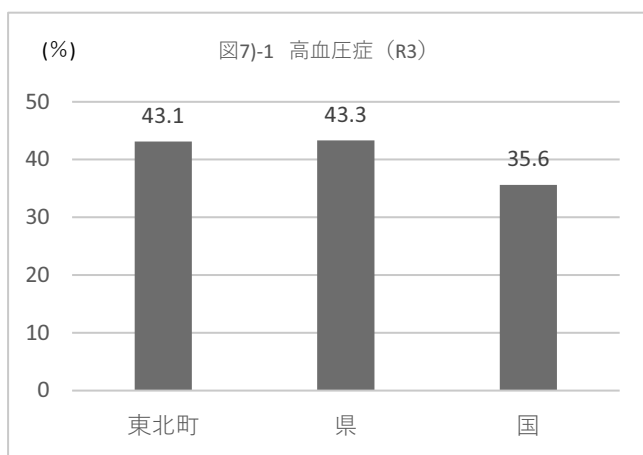
糖尿病基準値以上該当者は男女共に近年増加傾向です。



(KDBシステム 特定健診結果)

7) 高血圧症・糖尿病・脂質異常症での服薬者の割合（令和3年度 男女計）

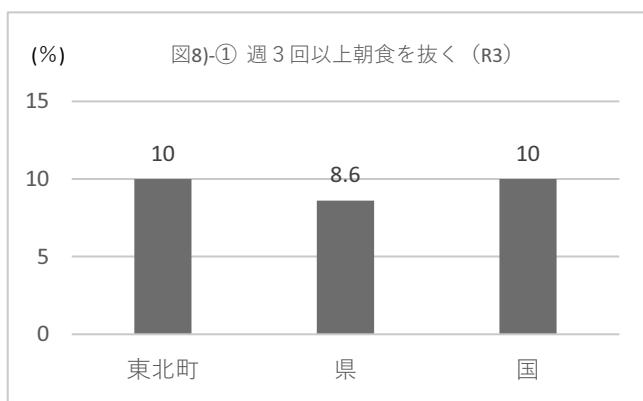
高血圧症・糖尿病・脂質異常症での服薬者は、高血圧症では青森県と同程度で国よりも多く、糖尿病・脂質異常症では県や国より多い状況です。



(KDBシステム 地域の全体像の把握：問診票調査（服薬）)

8) 食習慣

①週3回以上朝食を抜く者の割合（令和3年度男女計）

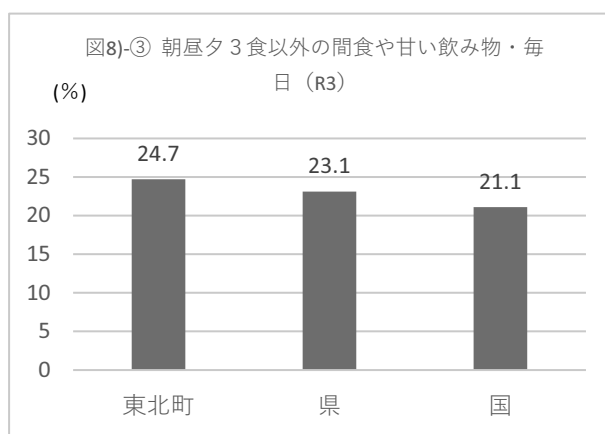
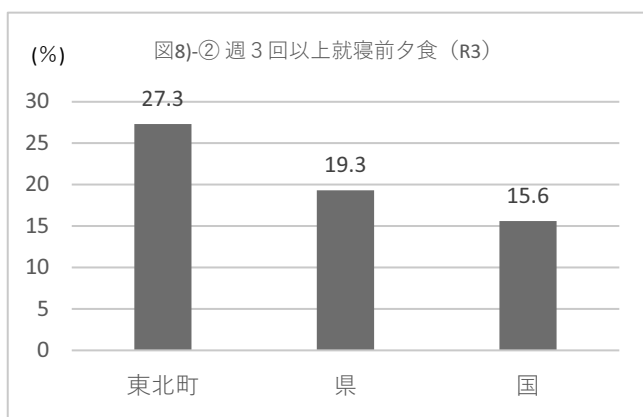


週3回以上朝食を抜いている方は10.0%で県よりも多く、国と同程度です。

（KDBシステム 地域の全体像の把握：質問票調査（食習慣））

②週3回以上就寝前夕食習慣者の割合 ③朝昼夕3食以外の間食や甘い飲み物を毎日摂る者の割合（令和3年度男女計）

「週3回以上就寝前夕食の習慣のある者」、「朝昼夕3食以外の間食や甘い飲み物を毎日摂る者」の割合は県や国より多い状況です。

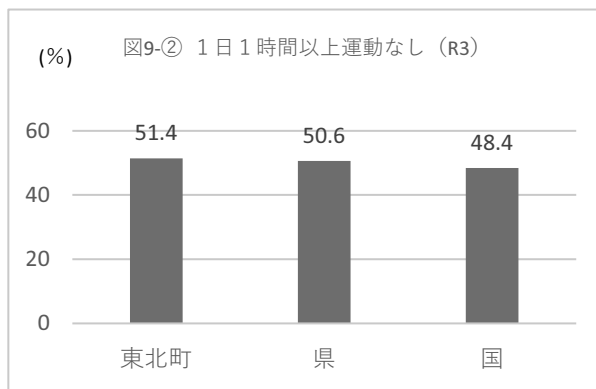
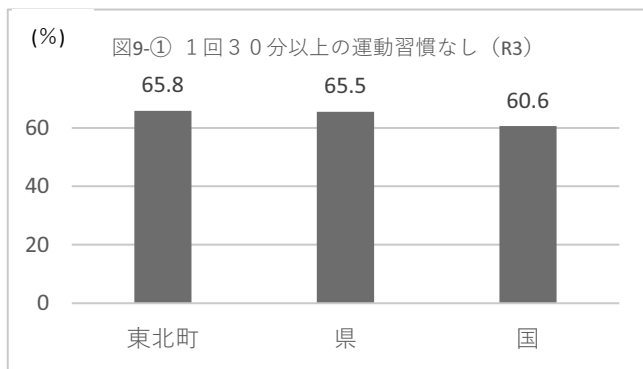


（KDBシステム 地域の全体像の把握：質問票調査（食習慣））

9) 運動習慣（令和3年度男女計）

①1回30分以上の運動習慣（1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上1年以上実施している）がない者の割合、②1日1時間以上運動（日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上）がない者の割合

「1回30分以上の運動習慣がない者」の割合は県と同程度で国よりも多く、「1日1時間以上運動しない者」の割合は県や国と同程度の状況です。

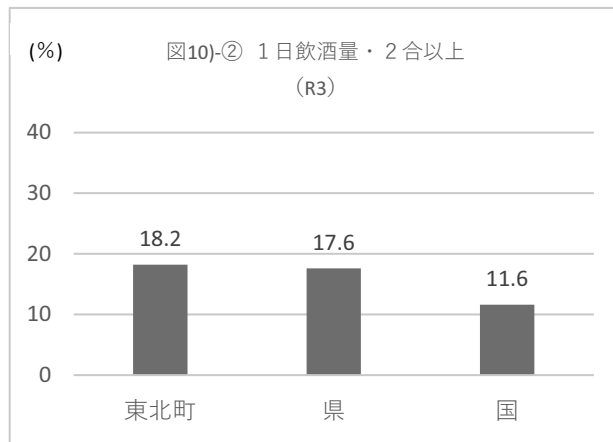
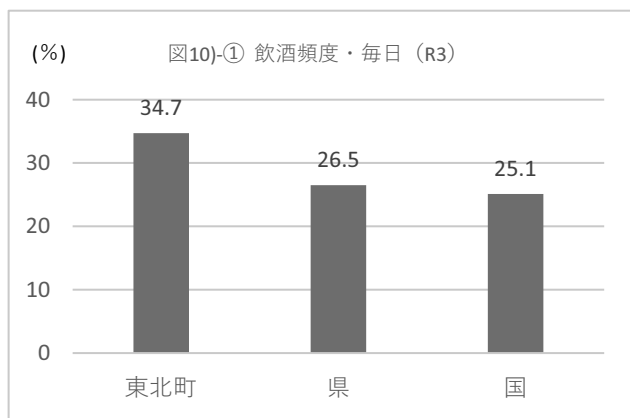


（KDBシステム 地域の全体像の把握：質問票調査（運動習慣））

10) 飲酒習慣（令和3年度男女計）

①飲酒習慣（毎日飲む）者の割合、②1日の飲酒量が2合（日本酒換算）以上の者の割合

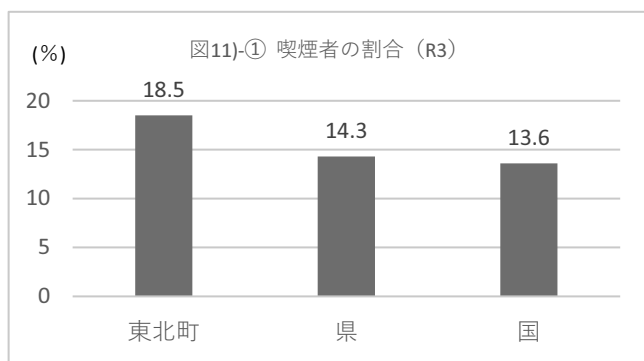
「飲酒習慣（毎日飲む）者の割合」及び「飲酒量が2合（日本酒換算）以上の者の割合」は県や国より多い状況です。



（KDBシステム 地域の全体像の把握：問診票調査（飲酒頻度））

11) 喫煙習慣

①喫煙者の割合（たばこを習慣的に吸っている（合計100本以上、又は6ヶ月以上吸っており、かつ最近1ヶ月間吸っている 加熱式たばこ・電子たばこを含む））（令和3年度男女計）

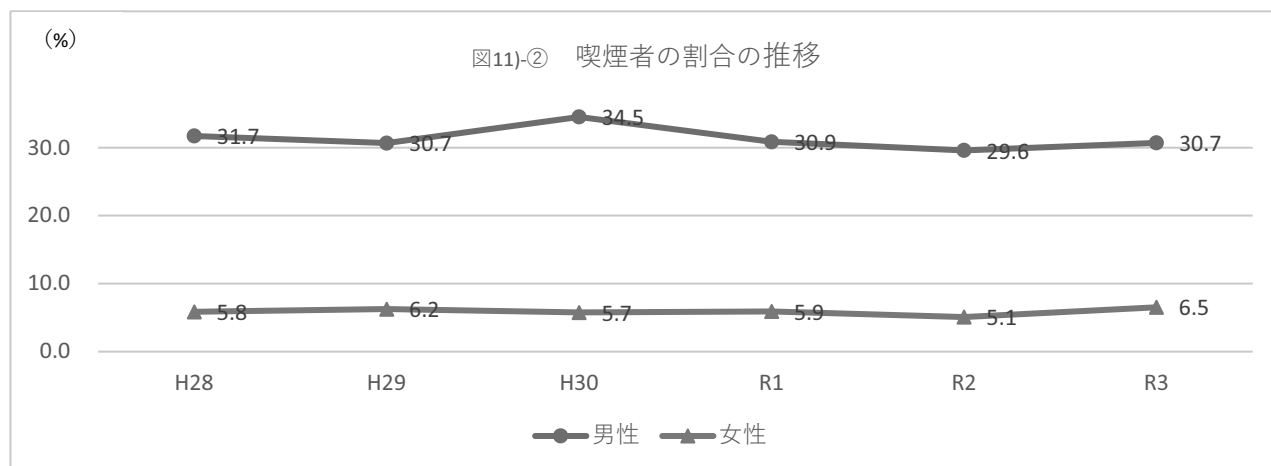


東北町の喫煙者の割合は18.5%で県や国と比較すると多い状況です。

（KDBシステム 地域の全体像の把握：問診票調査（喫煙））

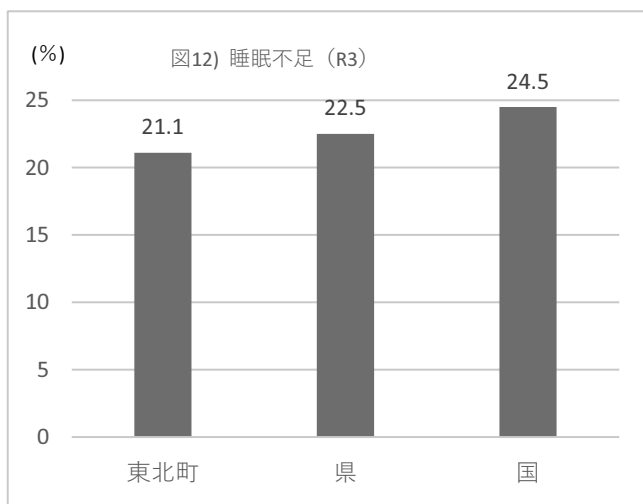
②喫煙者割合の推移

喫煙者は男性は減少傾向ですが、女性は横ばいです。



（KDBシステム 特定健診問診票）

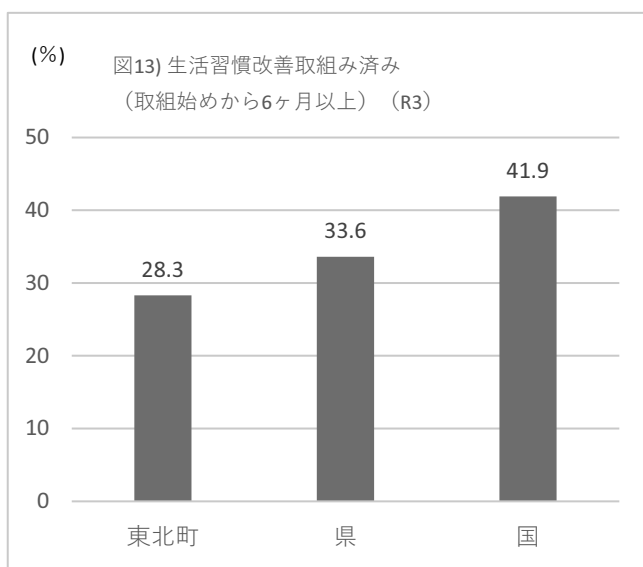
12) 睡眠不足を感じている者の割合（令和3年度男女計）



睡眠不足を感じている者の割合は21.2%で県や国と比較すると少ない状況です。

(KDBシステム 地域の全体像の把握：問診票調査（睡眠不足）)

13) 生活習慣改善意欲があり取組済みの者の割合（取組始め～6ヶ月以上）（令和3年度男女計）



生活習慣改善意欲があり取組済みの者の割合は、28.3%で県や国と比較すると少ない状況です。

(KDBシステム 地域の全体像の把握：問診票調査（生活習慣改善）)

5. 資料編

東北町保健協力員名簿

(任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日)

(上北)

No.	地区名	氏 名	No.	地区名	氏 名
1	新館	小 原 艶 子	30	上野（南）	蛭 名 敦 子
2	戸館	木 村 比 登 美	31	上野（下）	蛭 名 絹 恵
3	八幡	新 館 邦 子	32	上野（南）	野 田 英 子
4	八幡	町 屋 孝 子	33	上野（上）	蛭 沢 睦 子
5	赤平	檜 崎 厚 子	34	新町	駒 嶺 詔 子
6	大浦	蛭 名 君 枝	35	新町	蛭 名 茂 子
7	大浦	四 戸 幸 子	36	新町	和 田 ス ゲ 子
8	大浦	田 嶋 る い 子	37	新町	柴 田 千 恵
9	徳万才	佐 ヶ 木 良 子	38	本町	蛭 名 真 喜 子
10	徳万才	米 内 山 マ リ 子	39	本町	織 笠 祐 子
11	徳万才	瀬 川 と み	40	本町	高 田 と み
12	中岫平	山 端 慶 子	41	本町	中 野 光 子
13	才市田	瀬 川 奈 保 子	42	南町	竹 内 あ き 子
14	大洞	野 村 と き 子	43	南町	沼 尾 節 子
15	境ノ沢	李 澤 祥 子	44	南町	乙 供 泰 子
16	新山	千 葉 む つ 子	45	南町	乙 部 ま つ 子
17	新山	新 山 万 亀 子	46	南町	佐 ヶ 木 富 子
18	新山	新 山 ト ワ	47	旭町（下）	和 田 千 賀 子
19	新山	新 山 さ つ 子	48	旭町（下）	蛭 名 せ つ
20	菩提寺	富 岡 里 子	49	旭町（下）	蛭 名 真 奈 美
21	虫神	坂 本 と よ 子	50	花向町	蛭 名 和 子
22	小川原（北）	市 川 み ゑ	51	花向町	山 田 ま き 子
23	小川原（北）	小 笠 原 え み 子	52	栄沼	和 田 君 子
24	小川原（南）	小 笠 原 郁 子	53	栄町（下）	山 田 せ つ
25	小川原（南）	兼 岡 希	54	栄町（下）	蛭 名 恵 子
26	向山	市 川 恵 子	55	栄町（上）	檜 山 咲 子
27	沼崎本村	沼 田 美 由 紀	56	栄町（上）	蛭 名 広 子
28	沼崎本村	沼 尾 洋 子	57	栄町（上）	中 野 ア ヤ 子
29	上野（南）	蛭 名 香 須 美			

(東北)

No.	地区名	氏 名	No.	地区名	氏 名
58	明美	荒 木 田 行 子	104	添ノ沢	大 久 保 明 美
59	旭	細 井 洋 子	105	外蛇沢	下 浅 美 保 子
60	朝日団地	戸 澤 瑠 美	106	外蛇沢	鳥 山 ア サ 子
61	五十嵐	浜 形 友 美	107	滝沢	佐 伯 留 美 子
62	石坂	久 保 き み 子	108	蓼内	沼 山 え つ 子
63	石文	石 文 つ よ	109	館花	沼 山 久 仁 江
64	内蛇沢	蛇 沢 さ ゆ り	110	田ノ沢	沼 田 え つ み
65	内蛇沢	蛇 沢 愛 子	111	長者久保	江 刺 家 亮 子
66	宇道坂	赤 川 福 一	112	千代畑	江 刺 家 り つ 子
67	狼ノ沢	沢 居 優 穂	113	土橋	土 橋 安 子
68	大池	熊 谷 江 利 子	114	鶴ヶ崎	鶴 ケ 崎 直 子
69	大平	仁 科 優 子	115	鶴ヶ崎	鶴 ケ 崎 あ き 忍
70	大向旗屋	櫻 井 康 子	116	輝ヶ丘	沼 田 壽 美 子
71	乙供元町	乙 供 さ ち 子	117	塔ノ沢	山 田 正 子
72	乙供元町	萩 野 恵 子	118	徳万館	鎌 本 民 夫
73	乙供元町	天 間 ひ ろ 子	119	豊ヶ丘	小 野 寺 由 香 子
74	乙部	乙 部 優 子	120	豊栄	乙 部 ノ ブ 子
75	表町	蛇 沢 悦 子	121	豊瀬	大 杉 恵 子
76	表町	鴨 川 明 江	122	豊前	野 田 頭 ト シ 子
77	表町	上 原 子 則 子	123	長久保	鎌 本 絹 子
78	表町	滝 澤 み つ 子	124	野田頭	野 田 頭 え み 子
79	数牛	澤 田 玲 子	125	浜台	小 泉 育 代
80	甲地	吹 越 光 子	126	巴蘭	沼 山 秀 子
81	甲地	吹 越 秋 子	127	巴蘭	橋 本 せ つ 子
82	甲地	甲 地 み つ え	128	寒水	久 保 田 優 子
83	甲地	福 村 ま ゆ み	129	舟ヶ沢	新 堂 麻 理 子
84	甲地	甲 地 芳 子	130	夫雑原	江 刺 家 み や 子
85	上板橋	藤 田 栄 子	131	保戸沢	谷 川 百 合 子
86	上板橋	藤 井 茂 子	132	乙供本町	久 保 田 征 子
87	上清水目	清 水 目 か つ 子	133	乙供本町	佐 藤 昭 子
88	上畑	小 林 さ お り	134	乙供本町	濱 中 礼 子
89	みどりヶ丘団地	江 刺 家 か ず え	135	乙供本町	原 田 恵 美 子
90	北栄	高 田 利 子	136	馬込	小 泉 美 保 子
91	北栄	中 山 し げ 子	137	水喰	大 杉 真 裕 美
92	切左坂	久 保 田 イ ヨ	138	水喰	大 杉 佐 枝 子
93	乙供栄町	石 田 秋 子	139	緑町	沼 山 ア イ 子
94	乙供栄町	本 間 鈴 子	140	緑町	蛇 澤 ゑ み
95	坂下町	中 村 妙 子	141	南平	橋 本 ゆ き
96	桜木町	濱 中 初 枝	142	向平	上 野 洋 子
97	淋代	横 川 美 紀 子	143	向旗屋	下 田 一 子
98	柵	山 本 栄 子	144	向旗屋	桜 井 み つ 子
99	漆玉	岡 山 田 鶴 子	145	萌出	萌 出 美 沙 子
100	下清水目	清 水 目 真 理 子	146	湯沢	湯 沢 恵 子
101	乙供新町	杉 山 キ ヌ	147	横沢	滝 沢 恵 美 子
102	乙供新町	佐 藤 陽 子	148	林口	沼 山 有 美
103	蒼前	吹 越 千 登 世	149	公園団地	佐 藤 舞

東北町保健協力員協議会役員名簿

（任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日）

職 名	氏 名	町 内 名
会 長	駒 嶺 詔 子	新 町 （ 上 北 ）
副 会 長	小 原 艶 子	新 館
	原 田 恵 美 子	乙 供 本 町
理 事	沼 尾 節 子	南 町 （ 上 北 ）
	千 葉 む つ 子	新 山
	蛭 名 絹 恵	上 野 （ 下 ）
	野 田 頭 ト シ 子	豊 前
	熊 谷 江 利 子	大 池
	上 原 子 則 子	表 町
監 事	下 田 一 子	向 旗 屋
	新 山 ト ワ	新 山

令和4年度東北町食生活改善推進員名簿

任期 令和4年4月1日～令和6年3月31日

No.	地 区 名	氏 名	No.	地 区 名	氏 名
1	石 坂	岩 清 水 稚 子	27	小 川 原	沼 澤 規 子
2	内 蛭 沢	漆 畑 ま き 子	28	〃	市 川 美 子
3	〃	蛭 沢 愛 子	29	本 村	沼 尾 栄 子
4	大向簾屋	桜 井 修 子	30	上 野	蛭 名 ア サ エ
5	乙 供	乙 供 裕 幸	31	〃	蛭 名 真 理
6	甲 地	福 村 ま ゆ み	32	〃	蛭 名 き み 子
7	〃	吹 越 富 貴 子	33	〃	蛭 名 絹 恵
8	坂 下 町	通 駅 和 子	34	〃	蛭 名 え み 子
9	新 町	佐 藤 陽 子	35	〃	栗 田 泰 子
10	外 蛭 沢	松 本 敬 子	36	新 町	蛭 名 茂 子
11	舘 花	駒 ヶ 嶺 ヒ ロ ミ	37	〃	駒 嶺 詔 子
12	千 代 畑	横 濱 ち え	38	〃	蛭 名 ツ ヨ 子
13	巴 蘭	沼 田 け い 子	39	〃	駒 ヶ 嶺 祥 子
14	豊 前	駒 井 哲 子	40	〃	田 中 美 千 代
15	本 町	山 田 ト シ 子	41	〃	土 井 る り 子
16	〃	松 尾 恵 子	42	〃	山 田 美 奈 子
17	水 喰	中 山 ミ ヨ 子	43	〃	蛭 名 恵 子
18	緑 町	蛭 沢 ゑ み	44	南 町	山 端 千 代
19	大 浦	山 田 郁 代	45	旭 町	下 モ 内 さ つ
20	〃	田 嶋 る い 子	46	花 向 町	山 田 ま き 子
21	徳 万 才	米 内 山 マ リ 子	47	〃	田 中 恵 子
22	才 市 田	阿 部 智 子	48	〃	工 藤 良 子
23	境 ノ 沢	蛭 名 慶 子	49	栄 町	蛭 名 昭 子
24	〃	苔 米 地 小 月	計 49名		
25	〃	森 川 真 起 子			
26	〃	附 田 優 子			

令和4年度 東北町食生活改善推進員会役員名簿

(任期 令和4年4月1日～令和6年3月31日)

職 名	氏 名	町 内
会 長	通 駅 和 子	坂 下 町
副 会 長	蛭 名 慶 子	境 ノ 沢
理 事	駒 ケ 嶺 ヒ ロ ミ	館 花
	漆 畑 ま き 子	内 蛭 沢
	蛭 名 き み 子	上 野
	米 内 山 マ リ 子	徳 万 才
	山 田 美 奈 子	新 町
監 事	駒 ケ 嶺 祥 子	新 町
	乙 供 裕 幸	乙 供

東北町健康づくり推進協議会及び東北町献血推進協議会委員名簿

任期 令和2年10月1日から令和4年9月30日

	団体名	所 属	職 名	氏 名	備 考
1	行政機関	東北町	町長	長久保 耕治	会長
2	〃	上北地域県民局地域健康福祉部保健総室	所長	竹 林 紅	
3	医療機関	ちびき病院	理事長	間 瀬 豊	
4	〃	小川原湖クリニック	院長	工 藤 恭 司	
5	〃	沼山歯科医院	院長	沼 山 助 直	
6	〃	久保田歯科医院	院長	久 保 田 誠	
7	学校保健会	上北小学校	校長	相 馬 準 一	
8	事業所	ゆうき青森農業協同組合	代表理事 組合長	乙 部 輝 雄	
9	〃	十和田おいらせ農業協同組合	上北支店長	小笠原 富幸	
10	〃	上北町商工会	会長	和 賀 君 夫	
11	〃	東北町商工会	会長	中 村 章 二	
12	〃	小川原湖漁業協同組合	代表理事 組合長	濱 田 正 隆	
13	保健衛生組織	東北町保健協力員協議会	会長	駒 嶺 詔 子	
14	〃	東北町食生活改善推進員会	会長	逄 駅 和 子	
15	学識経験者	東北町スポーツ協会	会長	竹 内 稔	
16	〃	東北町連合婦人会	会長	乙 供 房 子	

東北町こころの健康づくり（自殺予防）対策協議会委員名簿

任期 令和3年1月1日から令和4年12月31日

番号	領 域	所 属	職 名	氏 名
1	医 療	沼山歯科医院	院長	沼 山 助 直
2		小川原湖クリニック	院長	工 藤 恭 司
3	職 域	ゆうき青森農協	組合長	乙 部 輝 雄
4		十和田おいらせ農協	上北支店長	小 笠 原 富 幸
5		小川原湖漁協	組合長	濱 田 正 隆
6		東北町商工会	会長	中 村 章 二
7		上北町商工会	会長	和 賀 君 夫
8	地域団体	東北町社会福祉協議会	会長	原 子 正 徳
9		老人クラブ	会長	甲 地 春 男
10		東北町民生委員・児童委員協議会	会長	八 森 龍 次
11		人権擁護委員		蛭 澤 孝 義
12		保健協力員協議会	会長	駒 嶺 詔 子
13		東北町連合婦人会	会長	乙 供 房 子
14	教 育	東北中学校	校長	角 田 正 美
15	警 察	七戸警察署 刑事生活安全課	係長	小 田 原 重 誠
16	行 政	上北地域県民局地域健康福祉部保健総室	総室長	竹 林 紅
17		東北町役場 福祉課	課長	林 博 幸
18		学務課	課長	甲 地 尚 彦

令和4年9月発行

発 行 東北町

編 集 保健衛生課

連絡先 〒039-2667
青森県上北郡東北町字膳前 37 番 1
TEL 0175-63-2001 FAX 0175-63-2043

〒039-2401
青森県上北郡東北町大字上野字上野 191 番 1
TEL 0176-56-2933 FAX 0176-56-3429



東北町